

平成29年度 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会

日時:平成29年7月28日(金)14:00～

場所:静岡国道事務所 2F 会議室

議 事 次 第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 事

- (1) これまでの検討経緯
- (2) 実施した渋滞対策
- (3) 今年度の取り組み(案)
- (4) 交通状況のモニタリング及び渋滞箇所の削除
- (5) 道路利用者団体との連携強化

4. 閉 会

<配布資料>

- ・資料:平成29年度第1回静岡県道路交通渋滞対策推進協議会
- ・資料:参考資料

平成29年度 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会名簿

	所 属	役 職	氏 名	備 考
◎	中部地方整備局	静岡国道事務所長	隅藏 雄一郎	
	"	建政部 都市整備課長	内藤 正仁	(欠席)
	"	道路部 道路計画課長	大谷 江二	(代理)建設専門官 井上 英俊
	"	道路部 地域道路課長	廣瀬 昌俊	
	"	道路部 交通対策課長	石垣 政彦	
	"	沼津河川国道事務所長	藤井 和久	(代理)計画課長 大西 宵平 (随)調査係長 小見山 公孝
	"	浜松河川国道事務所長	尾藤 文人	(代理)計画課長 高橋 寿 (随)調査係長 佐々木 亮介 主任 飯塚 貴史
	中部運輸局	交通政策部 環境・物流課長	小林 直人	(欠席)
	"	静岡運輸支局長	深谷 克巳	(代理)運輸企画専門官 保本 広司
	静岡県	交通基盤部 道路局 道路企画課長	山本 浩之	(代理)道路企画課 主査 藤井 洋行
	"	交通基盤部 道路局 道路整備課長	青木 直己	
	"	交通基盤部 道路局 道路保全課長	松井 三千夫	
	"	交通基盤部 都市局 都市計画課長	古梶 隆宏	(代理)都市計画課 主査 外木 崇之
	"	交通基盤部 都市局 地域交通課長	大倉 篤	(欠席)
	"	交通基盤部 都市局 街路整備課長	勝又 泰宏	(代理)街路整備課 主査 藤島 政記
	静岡市	建設局 道路部長	松本 隆	(代理)道路計画課 課長補佐 望月 克彦 (随)道路計画課 主任技師 渡邊 泰史
	"	都市局 都市計画部 交通政策担当部長	塚本 茂明	
	浜松市	土木部長	横山 幸泰	(代理)土木部 次長兼参与 中谷 孔右
	"	都市整備部長	岡本 光一	(代理)交通政策課 副技監 藤原 邦生
	静岡県警本部	交通部 参事官兼交通企画課長	小川 敏行	(欠席)
	"	交通部 交通規制課長	杉本 一	(代理)課長補佐 小林 賢司
	中日本高速道路(株)東京支社	総務企画部 企画調整チーム リーダー	伊原 泰之	(欠席)
	"	保全・サービス事業部 交通技術チーム リーダー	山本 隆	
	"	保全・サービス事業部 交通管制チーム リーダー	相良 健次	
	静岡県道路公社	常務理事	野知 泰裕	(代理)企画業務課 課長 沼野 克史 (随)企画業務課 課長代理 鈴木 正一
	静岡県トラック協会	専務理事	窪田 智樹	(代理)業務部長代理 小林 一仁
	静岡県バス協会	専務理事	平野 洋一	
	静岡県タクシー協会	専務理事	八木 孝雄	
事務局				
	中部地方整備局 静岡国道事務所 計画課			
	中部運輸局 静岡運輸支局			
	静岡県 交通基盤部 道路局 道路企画課			
	静岡県警本部 交通部 交通規制課			
	静岡市 建設局 道路部 道路計画課			
	浜松市 土木部 道路課			

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会規約

第1条（名称）

本協議会は「静岡県道路交通渋滞対策推進協議会」（以下協議会という）と称する。

第2条（目的）

静岡県内における道路交通の渋滞解消を図るため、道路管理者、公安委員会、運輸局、及び都市計画部局など関係機関の間で意見交換、調整を図り、円滑な道路交通を確保するとともに、健全な都市形成に資することを目的とする。

第3条（組織）

協議会は本目的に関係する団体等で構成する。

第4条（協議会）

1. 協議会は委員の要請により会長が招集する。
会長は国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所長とする。
2. 委員は、別表1に定めるとおりとする。但し、必要に応じ関係者の出席を求めることができるものとする。

第5条（協議会の運営・進行）

協議会の運営・進行は、会長がこれにあたることとする。

第6条（検討部会）

1. 第2条に規定する事項について、静岡県の西部、中部、東部伊豆地域ごとに事前調査及び調整を行うため、協議会に各地域の検討部会を置く。
2. 検討部会の部会長は関係地域の国土交通省直轄国道事務所の副所長（技）とする。
3. 検討部会は協議会を組織している関係団体等のなかから部会長が指名する職員で組織する。但し、必要に応じ関係者の出席を求めることができるものとする。
4. 第4条及び第5条の規定は検討部会の会議に準用する。この場合において、同条中「協議会」とあるのは「検討部会」、会長とあるのは「部会長」と読み替えるものとする。

第7条（事務局）

協議会の事務局は国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所計画課、中部運輸局静岡運輸支局、静岡県交通基盤部道路局道路企画課、静岡県警察本部交通部交通規制課、静岡市建設局道路部道路計画課、及び浜松市土木部道路企画課に置く。

また、検討部会の事務局は部会長が所属する国土交通省直轄国道事務所の調査担当課に置く。

第8条（その他）

本規約に規定されていない事項については協議会に諮り決定することとする。

<附 則>

1. この規約は平成2年12月14日から施行する。
2. この規約改正は平成5年6月14日から施行する。
3. 静岡県道路交通円滑化連絡協議会（平成2年12月14日発足）は廃止する（平成5年6月14日付）
4. この規約改正は平成5年8月30日から施行する。
5. この規約改正は平成6年9月21日から施行する。
6. この規約改正は平成9年3月19日から施行する。
7. この規約改正は平成9年10月30日から施行する。
8. この規約改正は平成17年10月31日から施行する。
9. この規約改正は平成20年1月15日から施行する。
10. この規約改正は平成24年6月27日から施行する。
11. この規約改正は平成25年6月28日から施行する。
12. この規約改正は平成27年3月23日から施行する。
13. この規約改正は平成27年9月29日から施行する。
14. この規約改正は平成28年7月25日から施行する。

平成29年度 第1回 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会

場所：静岡国道事務所 会議室

[目次]

1. これまでの検討経緯
2. 実施した渋滞対策
3. 今年度の取り組み（案）
4. 交通状況のモニタリング及び渋滞箇所の削除
5. 道路利用者団体との連携強化

平成29年7月28日（金）
静岡県道路交通渋滞対策推進協議会 事務局

1. これまでの検討経緯

1. これまでの検討経緯

□ H27年度以降の取組経緯

年度	検討部会・協議会	議事概要
H27年度	【各エリアでの検討部会】	<ul style="list-style-type: none"> ● H26年度に実施した対策、H27年度に実施する対策に関する意見交換 ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換
	【渋滞対策推進協議会】 H27.9.29（火）	<ul style="list-style-type: none"> ● H26年度に実施した対策、H27年度に実施する対策に関する意見交換 ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換 <p>（⇒寺尾交差点を削除）</p>
	【各エリアでの検討部会】	<ul style="list-style-type: none"> ● H27年度に実施した対策の速報値による整備効果報告、H28年度に実施する対策に関する意見交換
H28年度	【各エリアでの検討部会】	<ul style="list-style-type: none"> ● 「エリアの渋滞対策の基本方針」に関する意見交換 ● H27年度に実施した対策、H28年度に実施する対策に関する意見交換（H28年度は通常期の渋滞対策に加え、「休日の渋滞対策」を検討） ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換
	【渋滞対策推進協議会】 H28.7.25（月）	<ul style="list-style-type: none"> ● 「エリアの渋滞対策の基本方針」に関する意見交換 ● H27年度に実施した対策、H28年度に実施する対策に関する意見交換 ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換 <p>（⇒久能IC、国本IC、瀬名IC、安西橋西交差点、西島交差点、二之宮交差点を削除）</p>
	【各エリアでの検討部会】	<ul style="list-style-type: none"> ● H28年度に実施した対策の速報値による整備効果報告、H29年度に実施する対策に関する意見交換
H29年度	【各エリアでの検討部会】	<ul style="list-style-type: none"> ● H28年度に実施した対策、H29年度に実施する対策に関する意見交換（H28年度は通常期の渋滞対策に加え、「休日の渋滞対策」を実施） ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換
	【渋滞対策推進協議会】 [本日]	<ul style="list-style-type: none"> ● H28年度に実施した対策、H29年度に実施する対策に関する意見交換 ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換 <p>（⇒同意が得られた箇所については削除予定）</p>
	【各エリアでの検討部会】	<ul style="list-style-type: none"> ● H29年度に実施した対策の速報値による整備効果報告、H30年度に実施する対策に関する意見交換

2. 実施した渋滞対策

2. 実施した渋滞対策

2-1 平成25~28年度に実施した対策

◆ 浜松エリア、中東遠地区

道路整備等

開通時期	事業	実施主体
平成25年 3月28日	1. 国道1号袋井バイパス(堀越C~三ヶ野IC)4車線化	国交省
7月	2. 国道301号拡幅(横山地区)	静岡県
平成26年 3月31日	3. 遠州鉄道線立体交差事業	浜松市
7月25日	4. (一)中郡福塚線 現道拡幅	浜松市
平成27年 2月24日	5. 国道1号浜名バイパス大倉戸IC 車線運用の見直し	国交省
3月7日	6. (一)磐田掛川線バイパス整備	静岡県
3月	7. 国道301号拡幅(新居地区)	静岡県
6月15日	8. (市)入山瀬線バイパス整備	掛川市
平成28年 1月25日	9. 国道1号袋井バイパス立体4車線拡幅・平面部6車線化	国交省
1月25日	10. (一)小笠山総合運動公園右折2車線化	静岡県
2月・3月	11. 国道301号拡幅(鷺津・中之郷地区)	静岡県
3月10日	12. 国道152号双竜橋交差点改良	浜松市
3月28日	13. 国道150号千浜南交差点改良	静岡県
3月30日	14. (都)掛川駅梅橋線(高御所工区)	掛川市

道路整備等

開通時期	事業	実施主体
平成28年 8月	15. 市道 原島西交差点改良	浜松市
12月	16. (主)天竜掛川線大池IC交差点信号連動化	掛川署
1月	17. 国道152号連尺交差点改良	浜松市
事業中	18. 国道152号下池川交差点改良	静岡県
	19. 国道301号(利木地区)道路改良	静岡県
	20. 国道150号磐南IIバイパス整備	静岡県
	21. (一)掛川磐田線道路改良(4車線化)	静岡県
	22. (市)掛川高瀬線道路改良	掛川市
	23. (市)桜木中横断線道路改良	掛川市
	24. (都)掛川駅梅橋線新設(H28一部開通)	掛川市
	25. (市)郡道坂線新設	掛川市

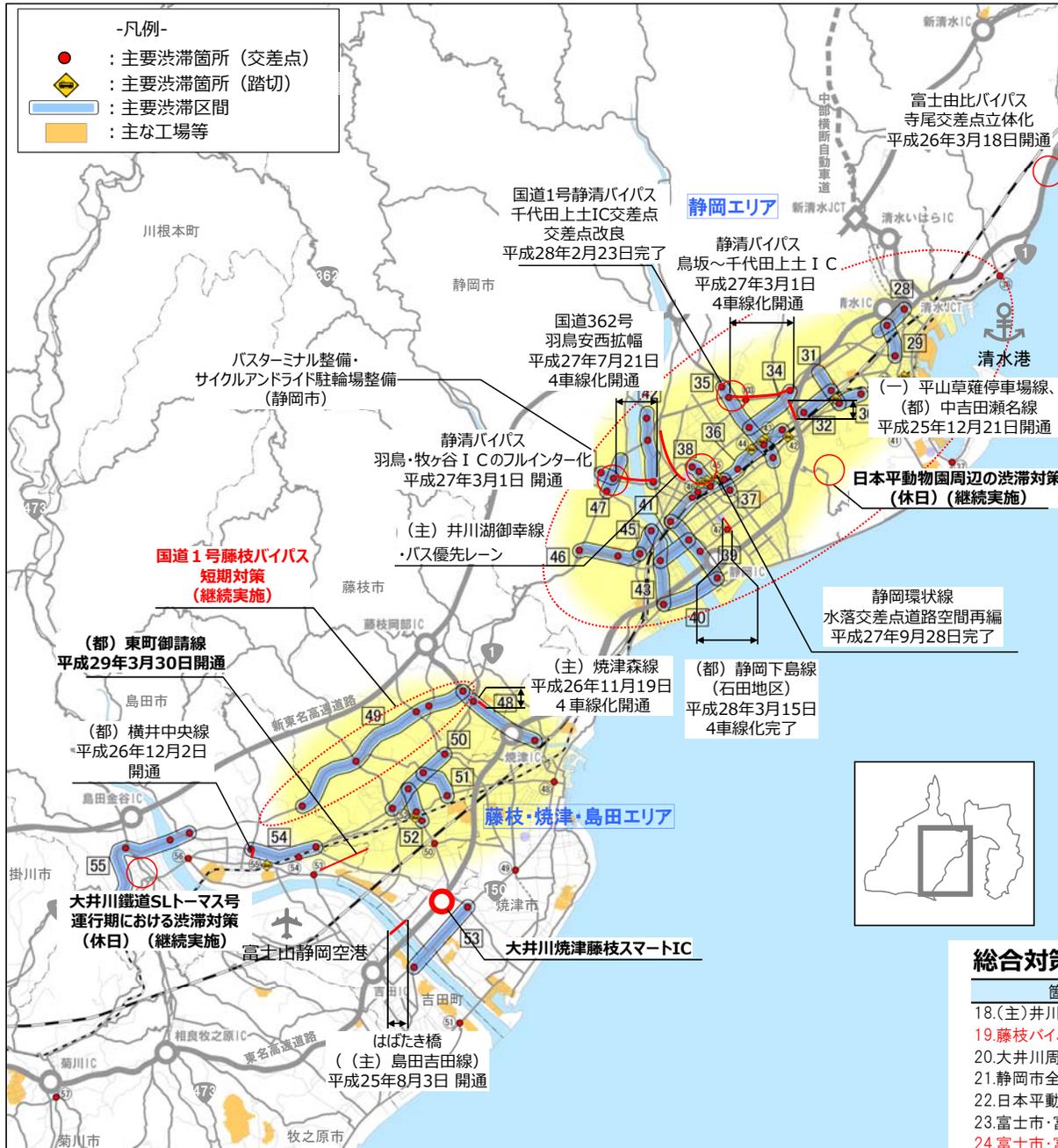
総合対策等

箇所	実施施策	実施主体
26. 浜松市内	・バス路線図、公共交通利用促進パンフレット配布、バス教室の開催	浜松市
27. 浜松市内	・バス専用(優先レーン)	浜松市、静岡県警
28. 浜松市内	・歩行者優先エリア	浜松市
29. 周智郡森町内	・観光期におけるTDM	森町
30. 国道150号掛塚橋	・チラシ配布・看板・横断幕設置による経路・時間分散	国、静岡県、浜松市、磐田市
31. 国道1号潮見バイパス(白須賀IC周辺)	・情報提供による速度低下対策(休日対策)【継続予定】	国、静岡県、掛川市
32. 国道1号掛川バイパス(大池IC・西郷IC周辺)	・情報提供による速度低下対策【継続中】	掛川市
33. 大河ドラマ館(浜松市北区)	・臨時駐車場・P&R・新バス路線【継続中】	浜松市



2. 実施した渋滞対策

◆ 静岡エリア、藤枝・焼津・島田エリア



◆ 富士エリア



道路整備等

開通時期	事業	実施主体
平成25年 8月3日	1.はばたき橋(主)島田吉田線	静岡県
12月21日	2.(一)平山草薙停車場線、(都)中吉田瀬名線	静岡市
平成26年 3月18日	3.富士由比バイパス寺尾交差点立体化	国
8月5日	4.市道大宮町21号線	富士宮市
8月6日	5.市道宮町10号線	富士宮市
11月19日	6.(主)焼津森線一部4車線化	静岡県
平成27年 12月2日	7.(都)横井中央線	島田市
3月1日	8.静清バイパス羽鳥・牧ヶ谷ICのフルインター化	国
3月1日	9.静清バイパス鳥坂～千代田上土IC4車線化	国
7月21日	10.国道362号 羽鳥安西拡幅4車線化	静岡市
9月28日	11.(一)静岡環状線 道路空間再編	静岡市
平成28年 3月15日	12.(都)静岡下島線(石田地区) 4車線化	静岡市
2月23日	13.静清バイパス千代田上土IC交差点改良	国
3月12日	14.大井川焼津藤枝スマートIC	NEXCO中日本、焼津市、藤枝市
平成29年 3月21日	15.国道139号富士改良(部分開通)	国
3月21日	16.国道469号山宮バイパス	静岡県
3月30日	17.(都)東町御請線	島田市

総合対策等

箇所	実施施策	実施主体
18.(主)井川湖御幸線	・バス優先レーン等	静岡市、県警本部、しずてつジャストライン
19.藤枝バイパス周辺	・国道1号藤枝バイパス短期対策(看板の設置)[継続中]	国、静岡県、藤枝市
20.大井川周辺	・大井川鉄道トーマス号運行期における渋滞対策[継続中]	島田市
21.静岡市全域	・バスターミナル、サイクルアンドライド駐輪場整備[継続中]	静岡市
22.日本平動物園周辺	・日本平動物園周辺の渋滞対策[継続中]	静岡市
23.富士市・富士宮市など	・富士山ゆくり帰宅キャンペーン	国
24.富士市・富士宮市など	・富士-富士宮間の観光交通誘導対策[継続中]	国
25.国道139号	・小泉若宮交差点 信号現示最適化	静岡県警

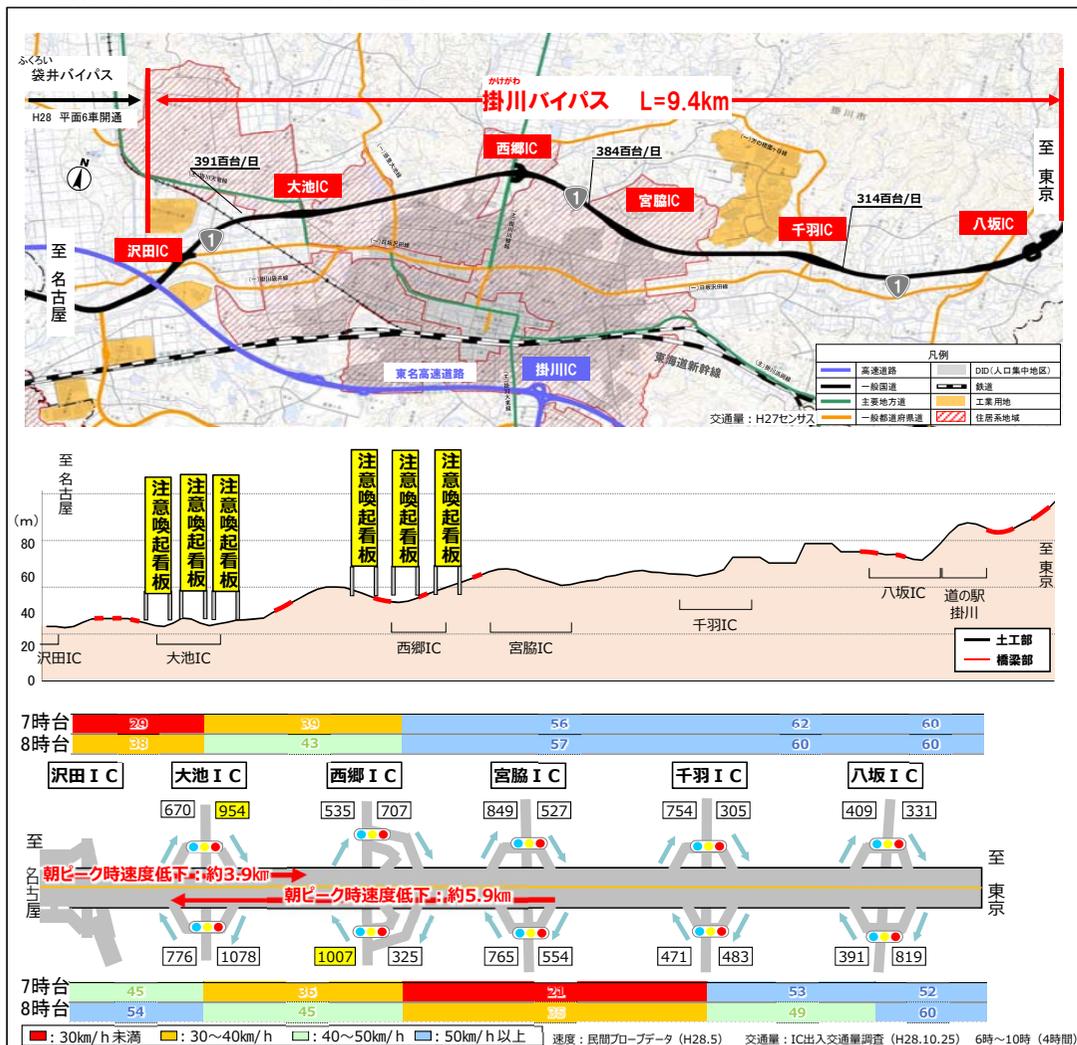
2. 実施した渋滞対策

(1) 国道1号掛川バイパスにおける渋滞ソフト施策（実施主体：国） <継続中>

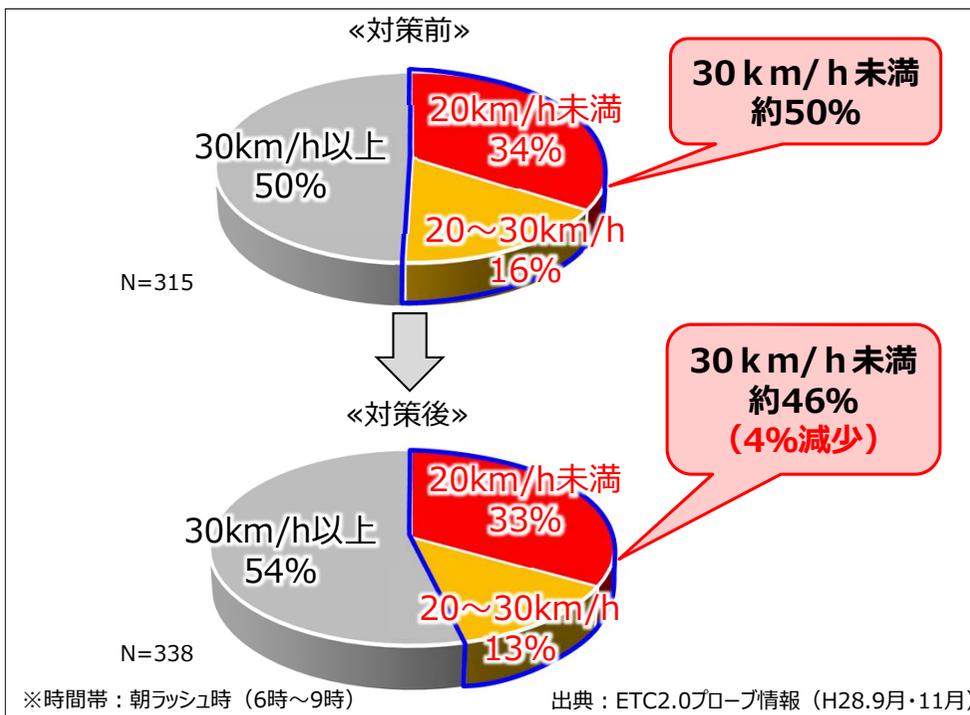
◆ H28年度に実施した対策概要と発現効果の検証

- 掛川バイパスでは、大池IC、西郷IC付近で合流車両及び縦断勾配等を要因とした渋滞が発生。
- 上り坂の手前や途中において、速度低下の注意喚起を目的とした看板設置による情報提供を実施中。
- 効果検証の結果、30km/h未満の低速度車両の割合が4%減少したことを確認。

■ 掛川バイパスの渋滞発生状況



■ 速度低下割合の変化（上り：東京方面（西郷IC～沢田IC））



2. 実施した渋滞対策

(2) 国道1号潮見バイパスにおける渋滞ソフト施策（実施主体：国） <実施済> <今年度継続予定>

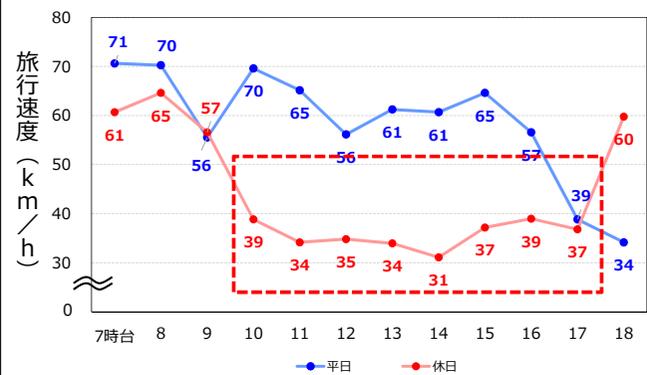
◆ H28年度に実施した対策概要と発現効果の検証

- 国道1号潮見バイパスの上り線（東京方面）において、休日昼間で、道の駅潮見坂付近から豊橋東ICまで速度低下が発生。
- 道の駅潮見坂～白須賀ICにかけて、道路構造（下り坂手前・上り坂付近）に着目した箇所注意喚起看板を設置し、一定の効果が確認された。
- 今年度は、更なる効果発現のため速度低下（ETC2.0プローブデータにより把握）が発生する箇所に着目した箇所に看板を設置。

■ 潮見バイパスの旅行速度状況

【上り：東京方面】

※豊橋東IC～白須賀IC付近



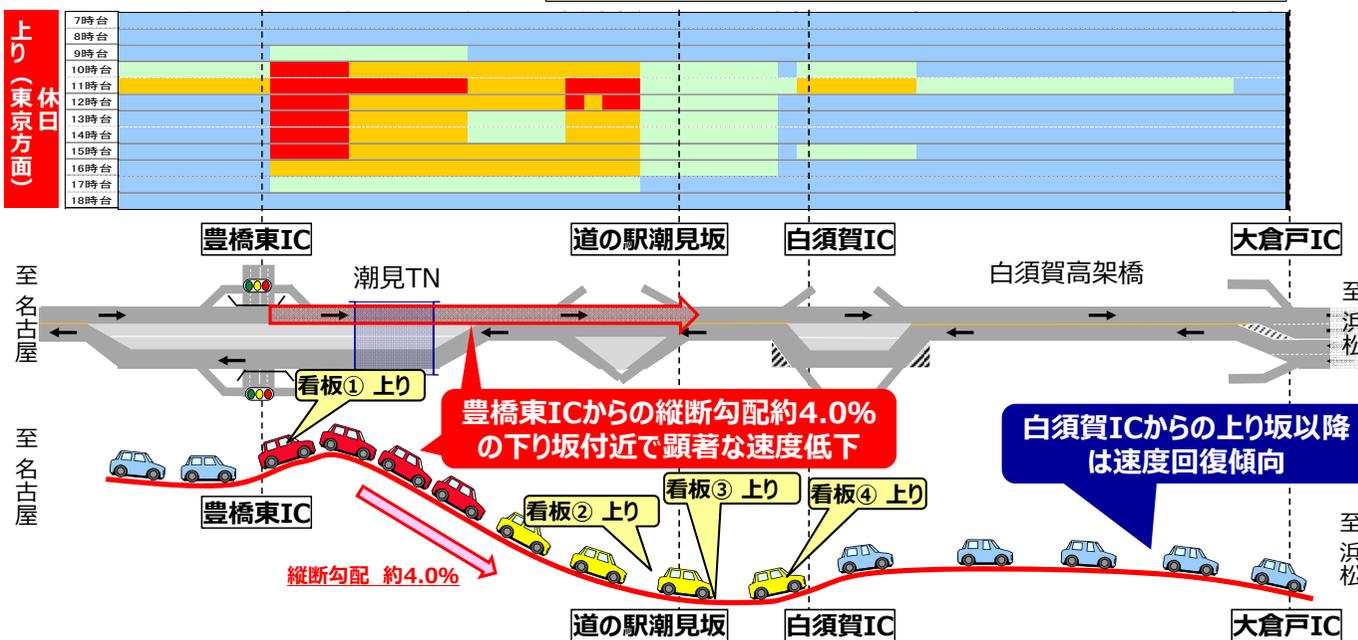
⇒休日：日中を通じて顕著な速度低下が発生

出典：ETC2.0プローブ情報（H28.9月）

■ 速度低下発生要因

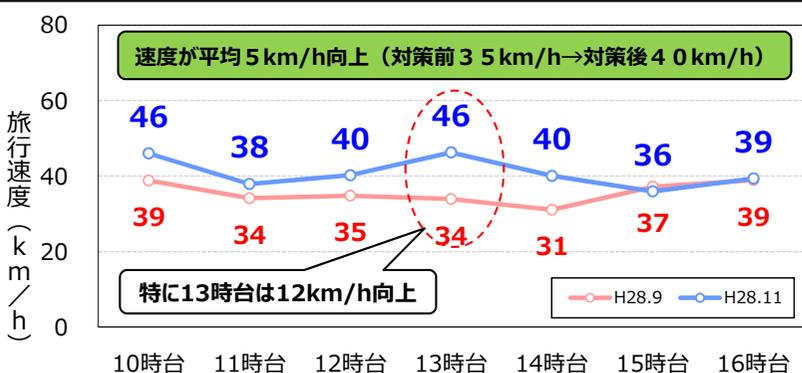
出典：H28.5民間プローブデータ

凡例 ■ :30km/h未満 ■ :30~40km/h ■ :40~50km/h ■ :50km以上



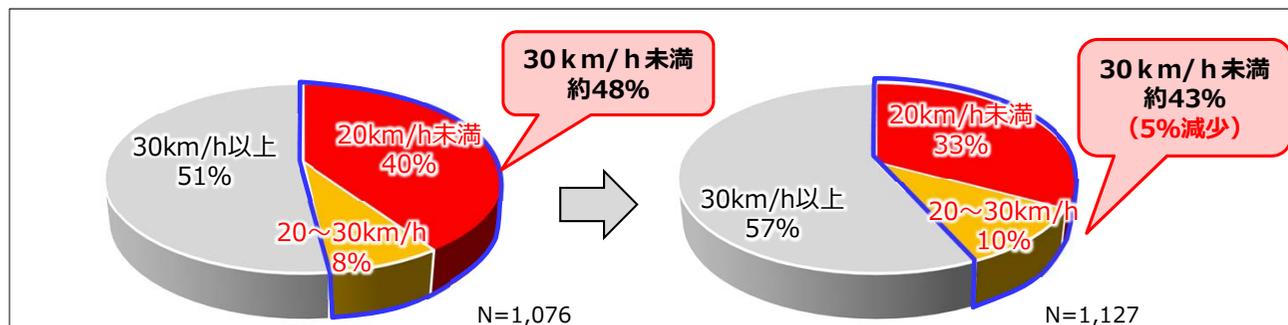
■ 休日ピーク時の旅行速度状況

（上り：東京方面（豊橋東IC～大倉戸IC間））



出典：ETC2.0プローブ情報（H28.9月・11月）

■ 休日ピーク時の速度低下割合（上り：東京方面（豊橋東IC～大倉戸IC））



※休日ピーク時（10時～16時） 出典：ETC2.0プローブ情報（H28.9月・11月）

2. 実施した渋滞対策

(3) 国道150号掛塚橋における渋滞ソフト施策（実施主体：国・県・市） <実施済>

H28年度に実施した対策概要・効果検証結果

- 国道150号掛塚橋での通勤交通の集中により発生している渋滞の対策として、「経路分散及び時間分散」を目的とするチラシ配布と、看板・横断幕設置による情報提供を実施。
- 今回の看板・横断幕の設置、チラシの配布による遠州大橋へのルート転換や6時台へのピーク分散の効果の発現は見られず、概ね変化が無かった。
- ただし、沿線企業からは遠州大橋の無料化後の転換の声もあるため、遠州大橋無料化を見据えた検討を進める。

◆ 看板・横断幕による情報提供



◆ チラシ配布による情報提供

◆◆◆ 朝の通勤を快適にしませんか!! ◆◆◆

- ◆掛塚橋は、朝の通勤時の交通集中で、激しい渋滞が発生。
- ◆遠州大橋は、渋滞に巻き込まれずに朝の通勤が可能。

渋滞に巻き込まれながらの通勤：掛塚橋
渋滞に巻き込まれず通勤：遠州大橋

朝の通勤、掛塚橋の渋滞をさけてみませんか？ (裏面へ)

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会 西部地域検討部会
問合せ先：浜松河川国道事務所 静岡員浜松市中区名張町2-6 TEL:053-406-0111

◆◆◆ 掛塚橋の渋滞を避けるには ◆◆◆

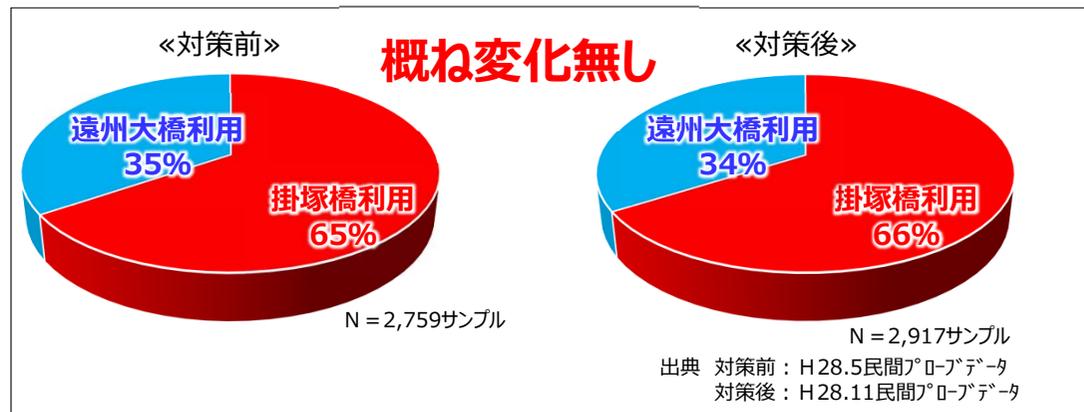
- ① 渋滞時間帯より少し早めに出発してみませんか？
- ② 走れる遠州大橋を利用してみませんか？

7時00分頃までならば、約10分早く通過することができます!!

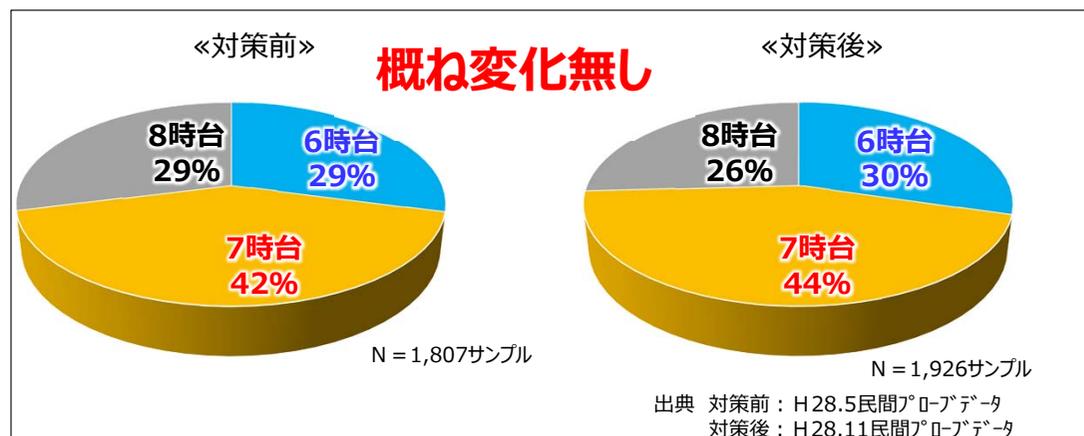
7時台であれば、遠州大橋ルートの方が約10分早い!!

「早めの出発」遠州大橋の利用はどうか!!

◆ 天竜川渡河部における走行車両の割合（平日：6時～9時）



◆ 掛塚橋における時間帯別の走行車両割合（平日：6時～9時）



◆ 沿線企業の声

- 遠州大橋が無料化となれば、会社が遠州大橋に近いことから利用は見込まれる。磐田市側の沿岸部からの通勤は遠州大橋を利用すると思われる。
- 8時始業なので、時間外勤務手当を支払わず、会社から7時前に掛塚橋を通過するように促進させるのは困難。



2. 実施した渋滞対策

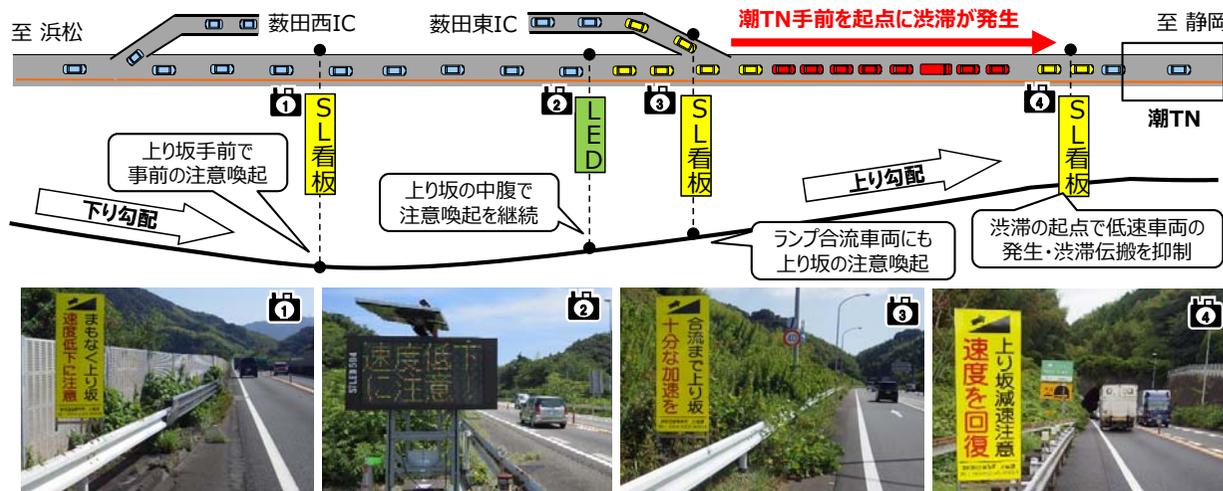
(4) 国道1号藤枝バイパスにおける渋滞ソフト対策（実施主体：国） <完了・一部継続中>

○藤枝BPではH28年度、「サグ部での無意識な速度低下に対する施策」、「ICの適正利用を促す施策」を、8月上旬～9月下旬にかけて実施した。

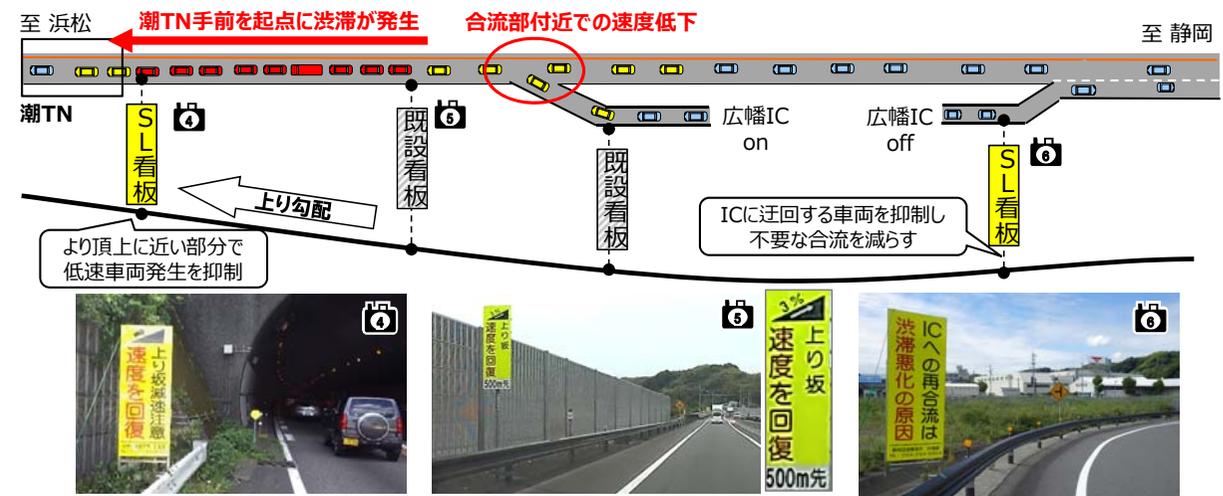
■ H28年度に実施した対策概要



上り：菟田東IC付近での対策（期間：H28.8.9（月）～9.20（月））



下り：広幡IC付近での対策（期間：H28.8.9（月）～9.20（月））



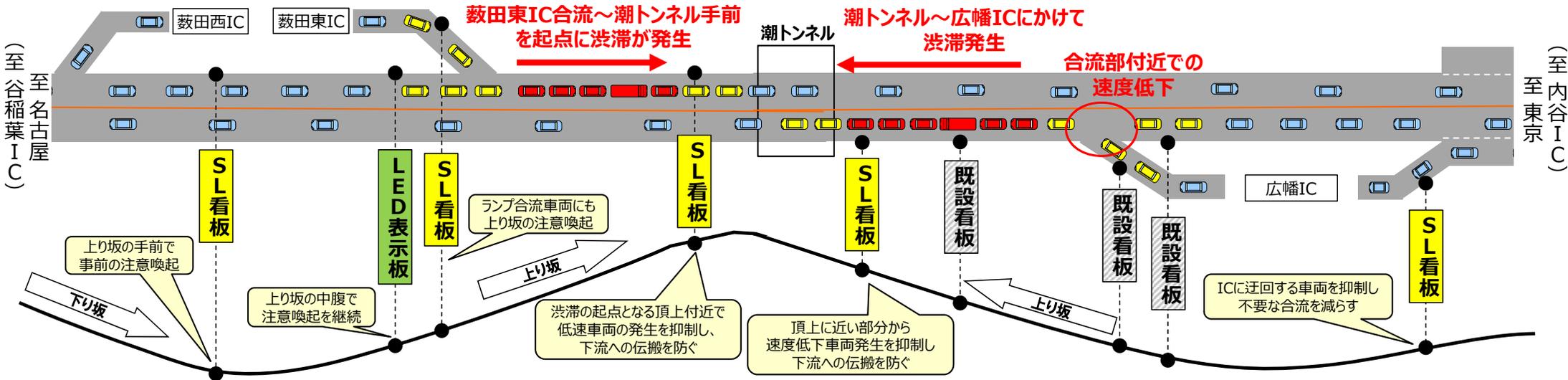
■ 藤枝バイパスの渋滞課題と対応する施策の推進

箇所	渋滞発生要因	対策内容
東光寺IC ^① 上り IC付近	連続するトンネル	東光寺IC付近から発生する渋滞への対策は今後検討
	サグ部での無意識な速度低下	
	ICからの合流車両	
菟田東IC ^② 上り IC付近	トンネル進入の心理的抵抗による速度低下	H27年度実施（継続中） 潮トンネルの照度変更
	サグ部での無意識な速度低下	H28年度・H29年度実施 LED表示版・SL看板による無意識な速度低下への注意喚起
	ICからの合流車両	H27年度実施（継続中） 合流車線前方での合流を促すSL看板を設置（国交省が実施） ピーク時の利用IC変更を促すSL看板を設置（藤枝市が実施）
広幡IC ^③ 下り IC付近	トンネル進入の心理的抵抗による速度低下	H27年度実施（継続中） 潮トンネルの照度変更
	サグ部での無意識な速度低下	H28年度・H29年度実施 LED表示版・SL看板による無意識な速度低下への注意喚起
	ICからの合流車両	H28年度・H29年度実施 広幡ICの適正利用を促すSL看板の設置（不要な合流の排除）

2. 実施した渋滞対策

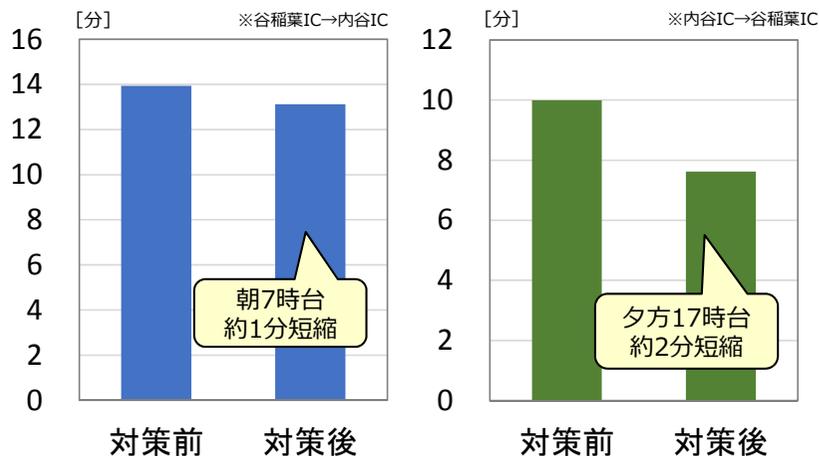
(4) 国道1号藤枝バイパスにおける渋滞ソフト対策 <H28年度実施対策の効果検証>

- 今回のソフト対策により、交通ピーク時の所要時間は、上り線で約1分、下り線で約2分短縮。
- 渋滞の遭遇率も、上り線は時間帯別で最大約30%減。下り線も17時台・19時台の遭遇率が大幅に低下。



効果検証①：所要時間の変化

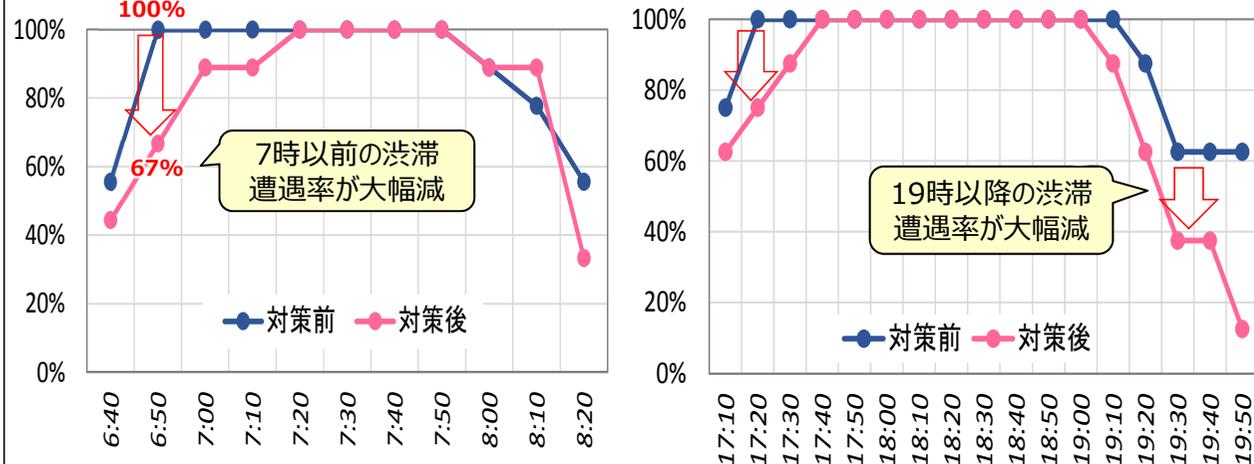
■ 東京方面(上り線):7時台の所要時間 ■ 名古屋方面(下り線):17時台の所要時間



※【対策前】H28.7.26(火)～8.5(金)、【対策後】H28.9.6(火)～9.16(金)
 ※ただし休日および事故・車線規制発生等の特異日を除く

効果検証②：渋滞の遭遇率の変化

■ 東京方面(上り線)：朝の渋滞遭遇率 ■ 名古屋方面(下り線)：夕方の渋滞遭遇率



※【対策前】H28.7.26(火)～8.5(金)、【対策後】H28.9.6(火)～9.16(金)
 ※ただし休日および事故・車線規制発生等の特異日を除く
 ※渋滞遭遇率：上記対象期間のうち、各時間帯において30km/hを下回る日の割合より算出

2. 実施した渋滞対策

(5) 情報提供による富士市～富士宮市間における交通案内誘導（実施主体：国） <継続実施>

- 国道139号小泉若宮等の主要渋滞箇所の交通混雑を緩和を目的とし、国道139号から**県道72号(富士白糸滝公園線)**等への案内誘導を促すため、道路利用者への①**現地案内誘導**、②**情報提供**（取組の周知）を実施。（実施期間は、秋の行楽シーズンである平成28年11月1日(火)～30日(水)の休日）
- 交通案内誘導の実施による、休日夕方の国道139号ルート交通量は、ほぼ増減なし。混雑回避ルートの交通量は、約2割増加。
- 混雑回避ルートの認知度は約2割であり、混雑回避ルートを利用する意向と回答した方は全体の約7割と高い

[広域図]



[取組概要]

- ②**情報提供**（交通案内誘導の広報・周知）
【チラシ・ポスターを用いた情報提供】



《道の駅 朝霧高原》



《白糸ノ滝》



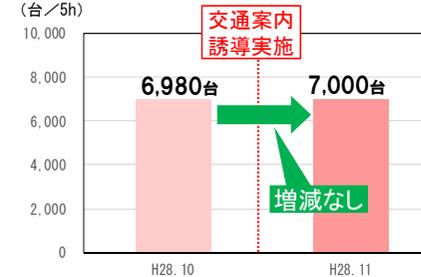
《沿線のコンビニ》



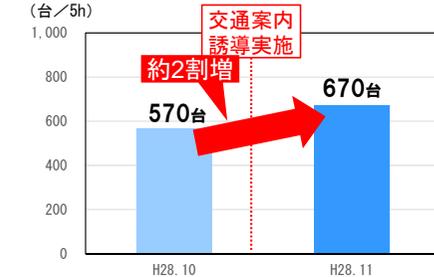
[対策実施による効果]

□交通量(夕方15h～19h合計)の変化

<国道139号ルート(上り:天間)>



<混雑回避ルート(上り:県道72号)>



出典: 国道139号は、トラランデータ(取組前: H28.10月休日、取組後: H28.11月休日)15～19時
混雑回避ルート(県道72号)は、交通量調査結果(取組前: H28.10月休日(10/29、10/30)、取組後: H28.11月休日)

[取組概要]

①**現地案内誘導**

《自立式による案内看板の設置方法》

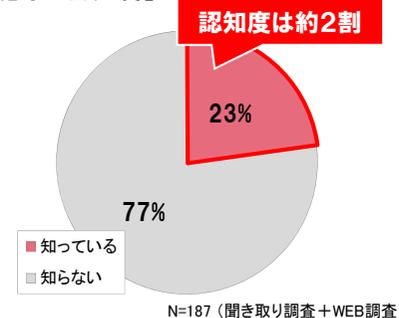


《ガードレール設置による案内看板の設置方法》

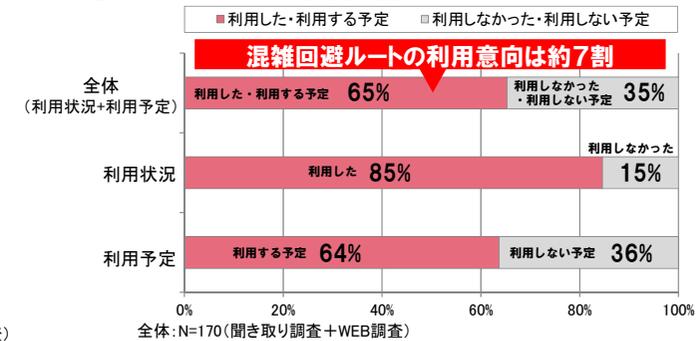


□聞き取り調査・WEBアンケート調査結果

【施策の認知度】



【混雑回避ルートの利用意向】



2. 実施した渋滞対策

(6) 愛鷹スマートICの開通による国道1号の交通状況（実施主体：沼津市）[H28.3.19開通]

- 東名高速道路 愛鷹SICの開通により、混雑が激しい国道1号上り線（東行き）の朝ピーク時の交通状況が改善。

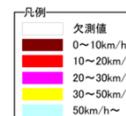
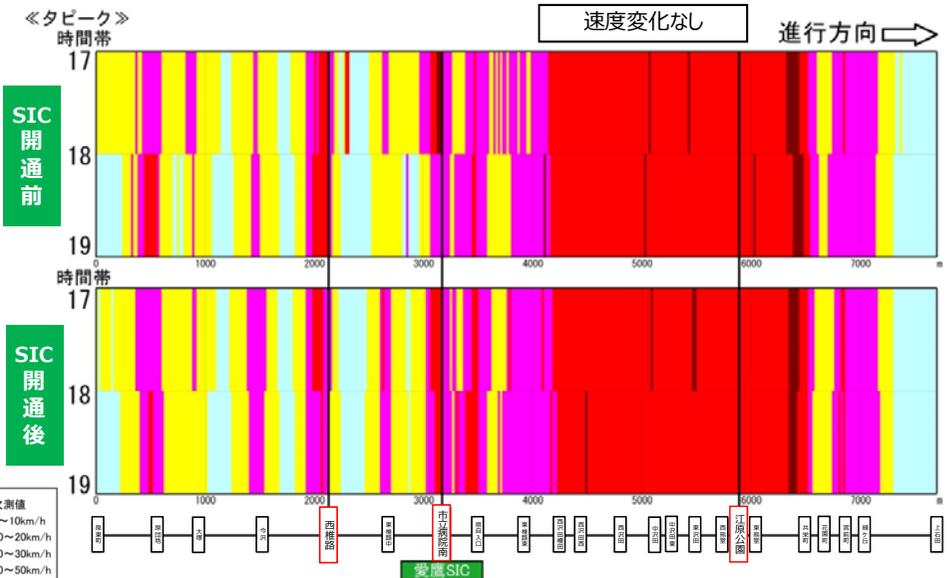
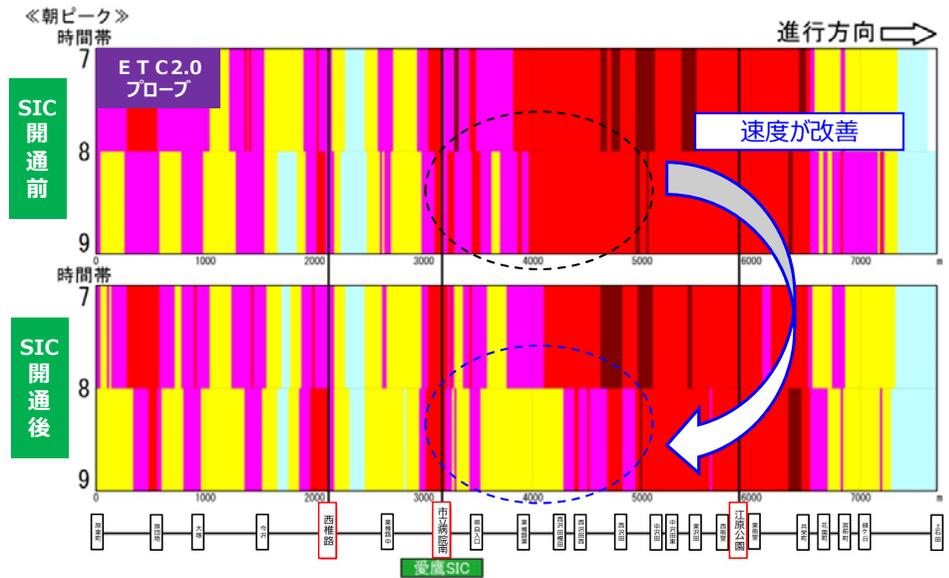
■ 位置図



【検証結果】

- ・国道1号東行きの朝ピーク(7時～9時)および夕ピーク(17時～19時)の時間帯に渋滞が顕著であるため、当該時間帯に着目し速度の比較分析を行った。
- ・朝ピーク(7時～9時)では、市立病院南(愛鷹SICアクセス)～江原公園前間における速度改善を確認した。
- ・夕ピーク(17時～19時)においては、愛鷹SIC方面の交通量が朝ピークより少なく(朝ピーク約400台/時、夕ピーク約300台/時)、朝ピークに比べ夕ピークは帰宅時間が分散しているため、目立った速度変化は確認されなかった。
- ・国道1号の交通量はH27年時と比較して約6千台減少した。

【国道1号東行き速度図：朝夕ピーク2時間】



※開通前H27年6月：平日の平均値、開通後H28年6月：平日の平均値

2. 実施した渋滞対策

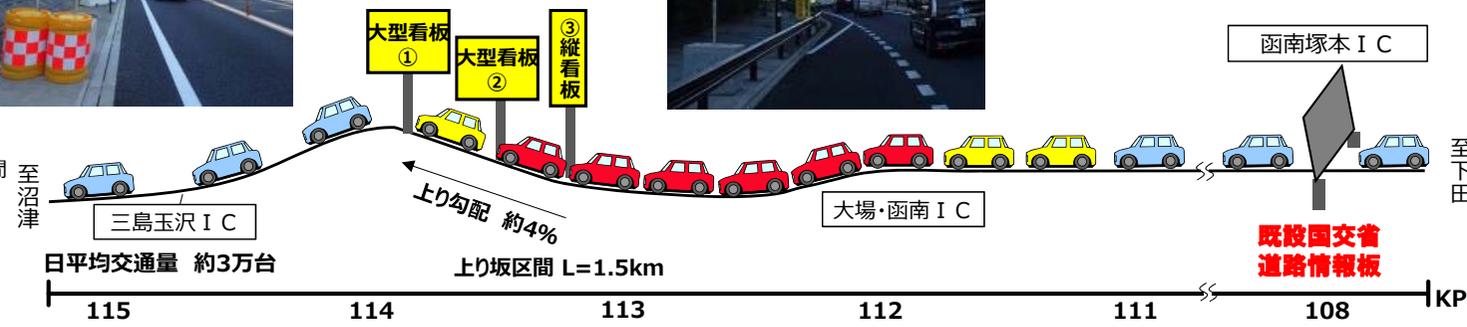
(7) 東駿河湾環状道路 サグ部渋滞対策(大型看板設置) (実施主体:国)

- 東駿河湾環状道路（上り）において、上り勾配がある付近にて、10km/h程度速度低下が見られる。
- ETC2.0プローブ情報を用いて、渋滞発生前の速度低下地点、渋滞発生後の渋滞先頭地点を把握し、大型看板等の設置位置を検討。
- 平成28年7月に大型看板等を設置したことにより、上り坂において速度が向上。

■ 広域図



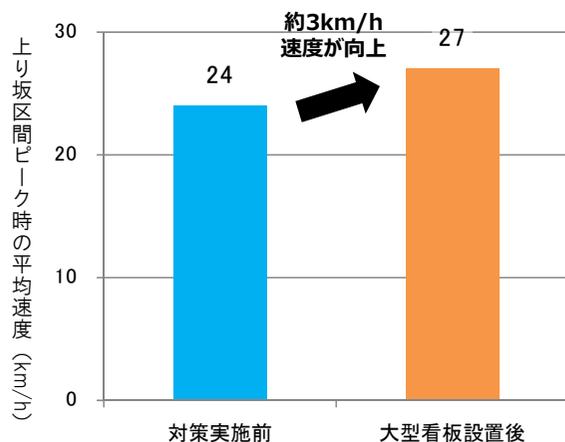
■ 対策内容



■ ETC2.0データを用いた看板設置位置の妥当性検証



■ 大型看板設置による効果



※速度は三島玉沢IC～大場・函南IC間の平均速度
 ※対策実施前：H26.7.26(土)17時台 大型看板設置後：H28.8.7(日)18時台
 ※速度は民間プローブデータから算出
 ※平均旅行速度はピーク1時間の平均速度

2. 実施した渋滞対策

(8) 国道138号リサーチパーク入口交差点 発進遅れ抑止対策（実施主体：国）

設置期間：H28年7月30日～12月1日

- 上り勾配で発進が緩慢となる上り車線停止線付近において、路側に発進遅れ抑止案内看板を設置し、スムーズな発進を促すことで、交差点での交通処理能力を向上させる。
- スムーズな発進を促す看板の設置により、通過台数が約10%増加し、渋滞が緩和。

■ 対策位置

静岡県小山町須走
国道138号 上り線



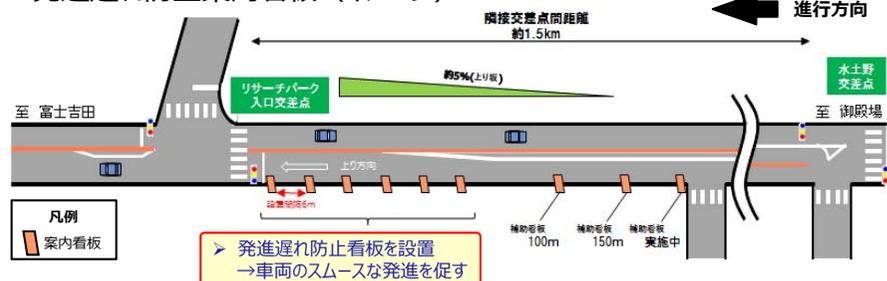
混雑緩和のため
スムーズな発進
にご協力を！

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会
国土交通省 沼津河川国道事務所

発進遅れ防止
案内看板（イメージ）

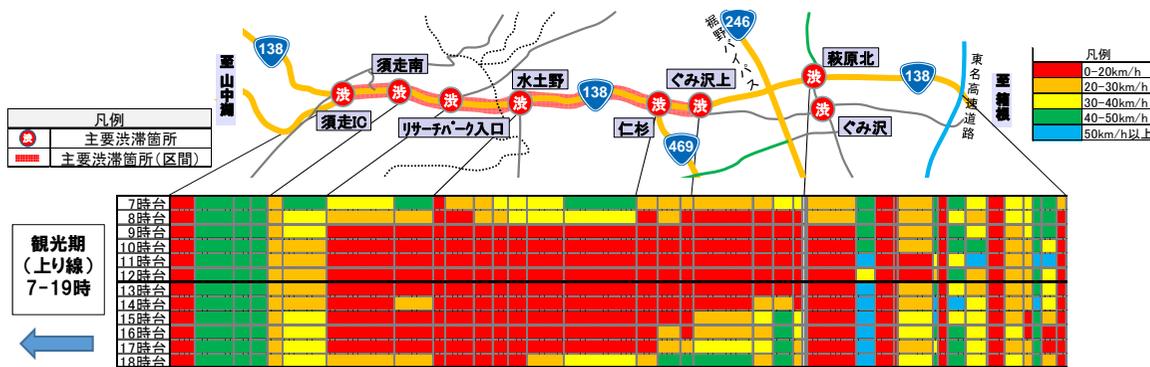
▶ ドライバーにスムーズな発進を意識してもらうことで、交差点流入における発進遅れを緩和させ、車頭間隔短縮による交差点流入台数を増加させる。

■ 発進遅れ防止案内看板（イメージ）



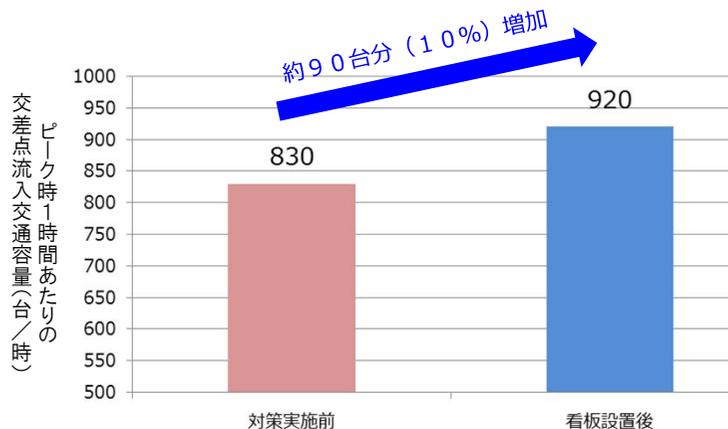
《交通の現状(旅行速度変動)》

■ H27.9シルバーウィークにおける速度低下状況



《対策の効果》

■ 対策実施前後における交差点流入交通容量の変化



調査日対策前：平成28年7月30日（土）
対策後：平成28年8月14日（日）

① 交差点直前に設置した看板



② 交差点手前に設置した看板



2. 実施した渋滞対策

(9) 伊豆スカイラインを活用した河津桜まつり期間中の渋滞対策（実施主体：静岡県）

- 平成29年2月17日～2月26日において、伊豆スカイラインの通行料金（通常980円）が上限200円となる割引キャンペーンを実施。
- 国道135号・136号から伊豆スカイラインへの迂回を呼びかける看板を各分岐点の周辺に設置
- 民間ルート検索サイトにおいて、小田原～伊豆高原間で伊豆スカイラインの利用が優位となる時間帯・方向において推奨迂回ルートへ誘導と合わせ伊豆スカイラインの料金割引の告知バナーを設定
- 対策の効果として、国道135号のピーク時所要時間が最大7分短縮

■ 看板位置図



● 設置看板



● 設置看板

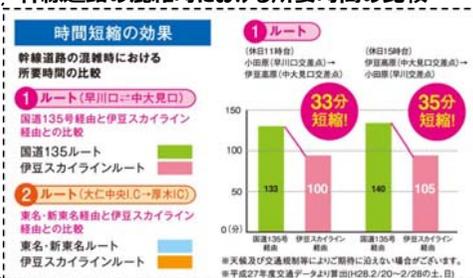


■ 配付チラシと混雑時における所要時間の比較

配布チラシ



幹線道路の混雑時における所要時間の比較



■ 民間ルート検索サイトを

利用した情報発信



■ 主要渋滞箇所付近の北行き所要時間の変化

<国道135号 殿山・水無田交差点付近(約3km区間)>



データ典拠：ETC2.0データ

<国道135号 中央町交差点付近(約1.3km区間)>

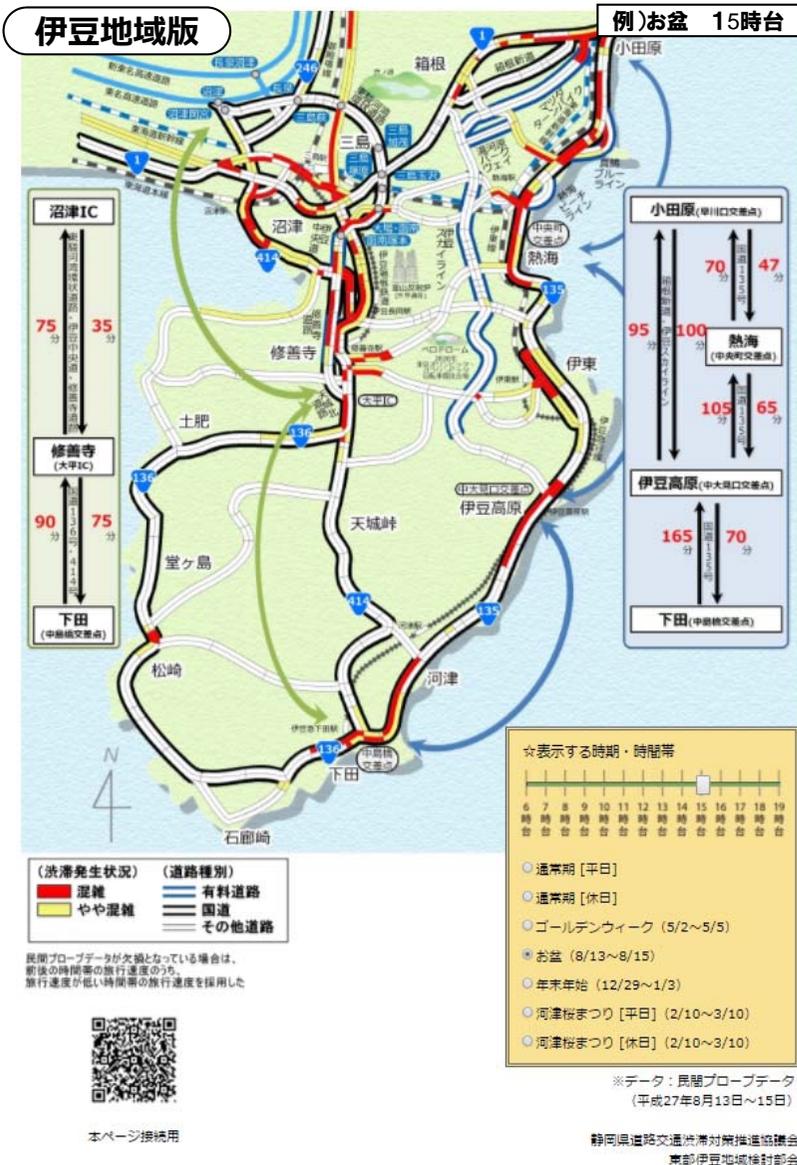


データ典拠：ETC2.0データ

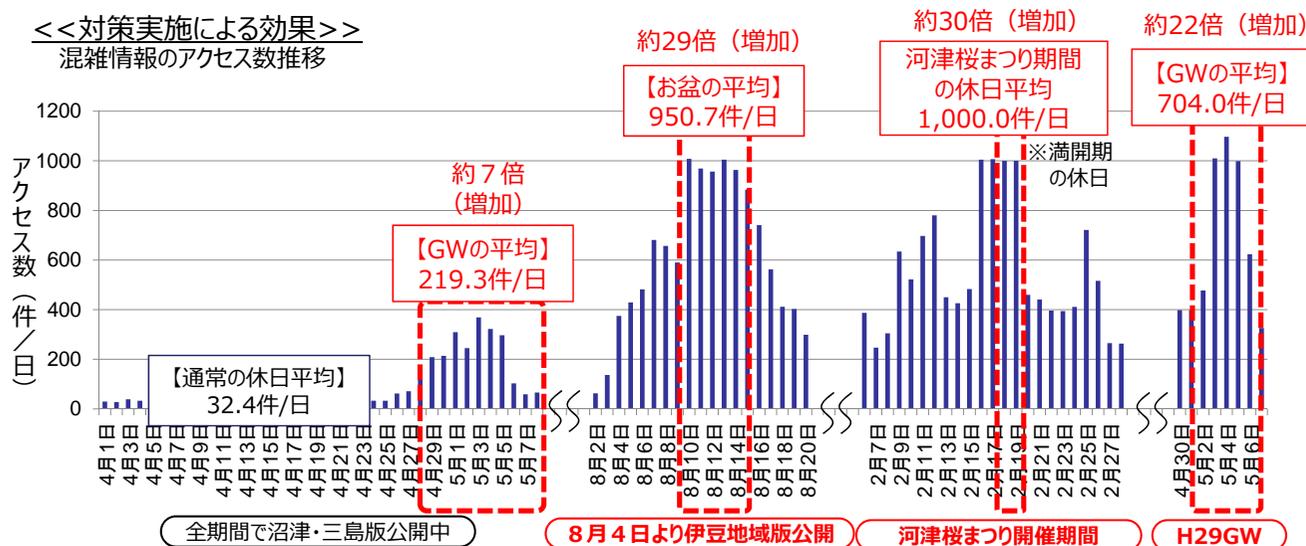
2. 実施した渋滞対策

(10) 伊豆地域におけるホームページを活用した混雑情報提供（実施主体：国）

- 主要な道路の繁忙期における混雑状況を過去の民間プローブデータを用いて示した情報提供ホームページを作成。平成28年8月4日より沼津・三島地域から伊豆地域に拡充。平成29年2月3日より伊豆地域の主要な道路における所要時間情報の提供を新たに開始。
- 平成27年12月25日の公開以降、一定のアクセスがあり、お盆期間では約2.9倍、河津桜まつり期間中では約3.0倍のアクセスがあった。



<<対策実施による効果>>
混雑情報のアクセス数推移



<<温泉旅館のブログでも紹介>>

伊豆地域の混雑情報

2017-06-10 Written by press002 牧之内賢文 Tagged as お知らせ

伊豆地域の混雑情報

そろそろ夏のお休みに、伊豆への旅行を計画されている頃ではないでしょうか。車での旅行を考えていると、気になるのは渋滞などの道路状況です。

そんな時、参考になるサイトがございます。

国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所の『伊豆地方の混雑情報』です。

お出かけの「時期」と「時間帯」を選択していただくと、どの辺りでの程度混むのか、また、地域間のおおよその所要時間が分かります。

ぜひ旅行計画にご利用ください。(^-^)

http://www.kouyuro-ikawa.jp/blog/archives/category/info

3. 今年度の取り組み（案）

3. 今年度の取組み(案)

3-1 エリア毎の検討・取組み内容

◆ 浜松エリア、中東遠地区

道路整備等

箇所	実施施策	実施主体	検討状況
国道301号(利木地区)	・道路改良	静岡県	事業中
(都)下石田葵西線	・新設整備	浜松市	事業中
国道150号 磐南Ⅱバイパス	・バイパス整備	静岡県	事業中
(市)桜木中横断線	・道路改良 (L=1.6km、W=10.0m)	掛川市	事業中
(都)掛川駅梅橋線新設	・新規路線(H28一部開通) (L=0.8km、W=16.0m)	掛川市	事業中
(市)郡道坂線新設	・新規路線 (L=0.7km、W=16.0m)	掛川市	事業中
(一)掛川磐田線	・道路改良(4車線化) (L=1.7km)	静岡県	事業中

総合対策等

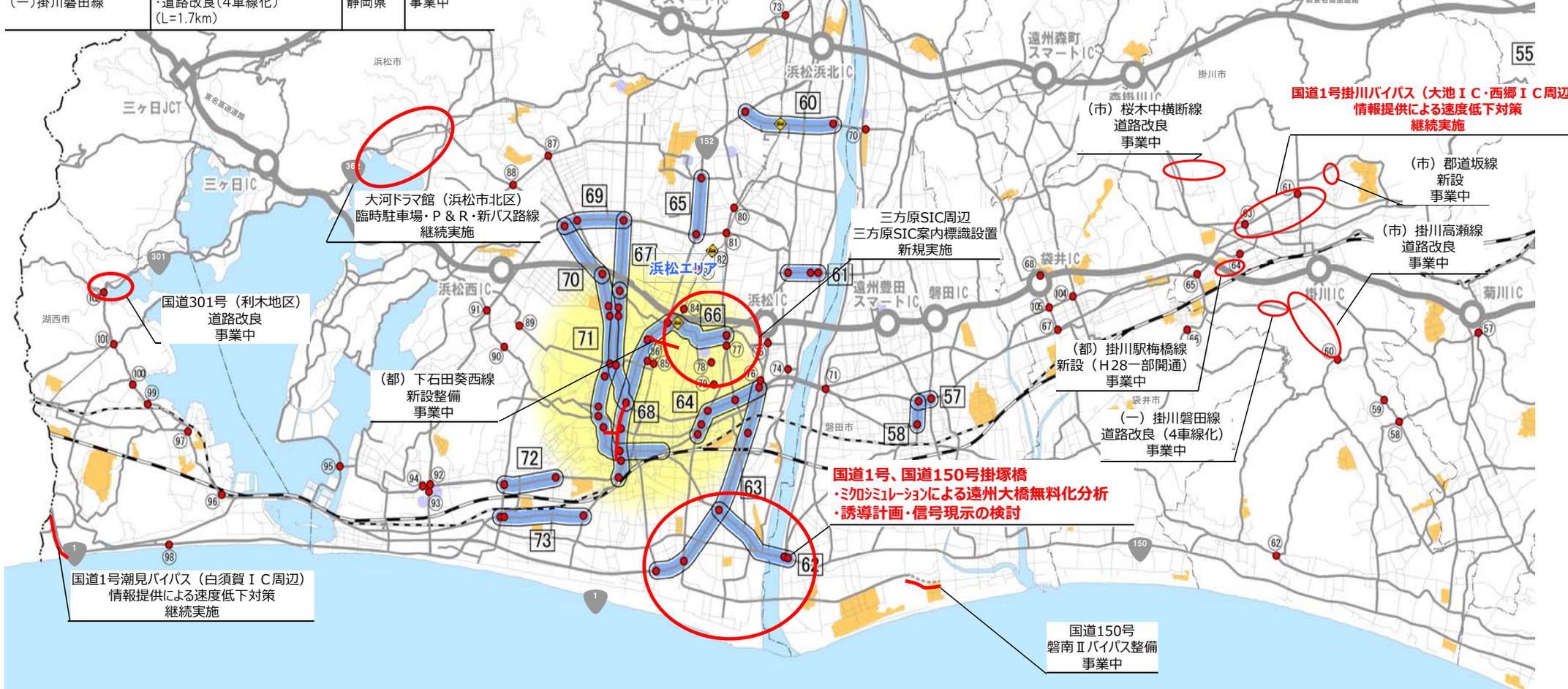
箇所	実施施策	実施主体	検討状況
国道1号掛川バイパス (大池IC・西郷IC周辺)	・情報提供による速度低下対策	国交省 静岡県 掛川市	継続実施
国道1号、国道150号 掛塚橋	・ミクシミュレーションによる遠州大橋 無料化分析 ・誘導計画・信号現示の検討	国交省 静岡県 浜松市	新規実施
国道1号潮見バイパス (白須賀IC周辺)	・情報提供による速度低下対策 (休日対策)	国交省	継続実施
大河ドラマ館 (浜松市北区)	・臨時駐車場新設・P&R ・新バス路線	浜松市	継続実施
三方原SIC周辺	三方原SIC案内標識設置	浜松市	新規実施

凡例

<主要渋滞箇所>
 ● 箇所
 ◆ 箇所(踏切)
 ■ 区間
 ■ エリア

<道路種別>
 ■ 高速道路
 ■ 一般県道以上
 ■ 市町村道

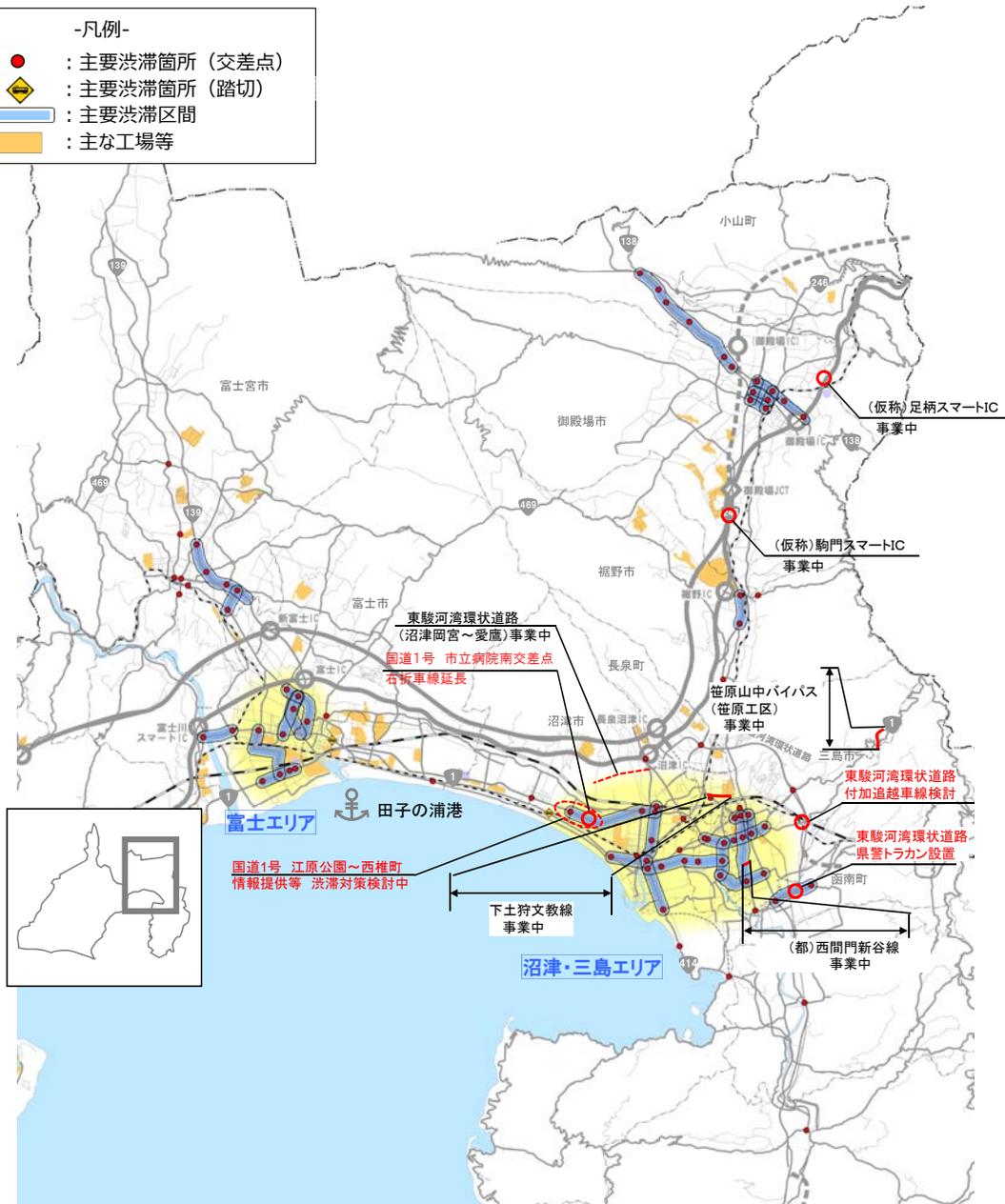
■ 主な工場等
 ● 主な大規模商業施設



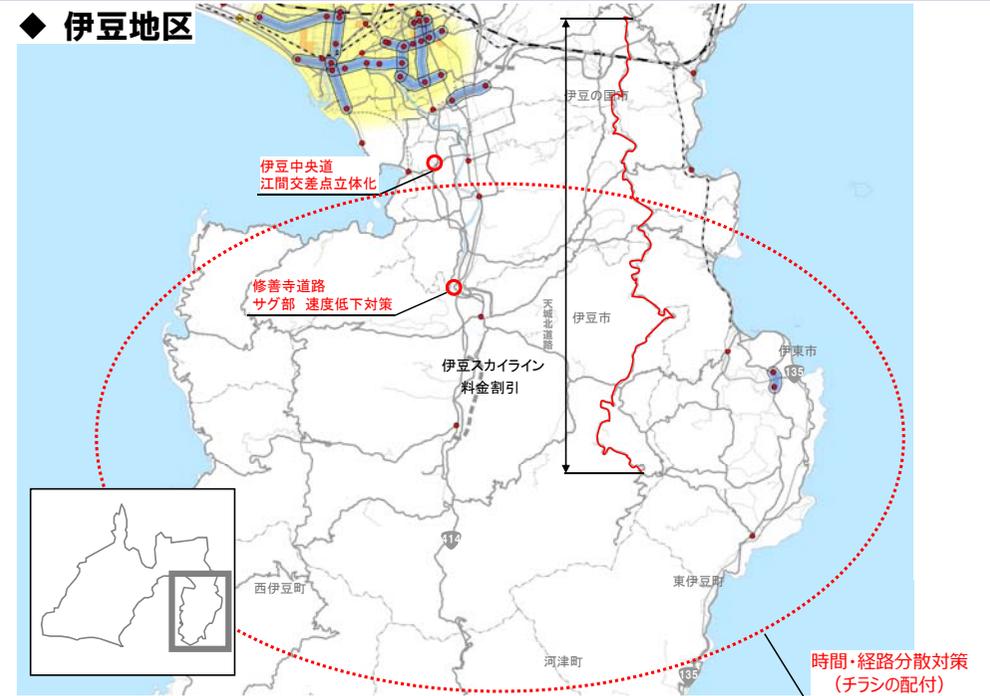
3. 今年度の取組み(案)

◆ 沼津・三島エリア、御殿場地区、裾野地区

- 凡例-
- : 主要渋滞箇所 (交差点)
 - ◆ : 主要渋滞箇所 (踏切)
 - : 主要渋滞区間
 - : 主な工場等



◆ 伊豆地区



道路整備等

箇所	実施施策	実施主体	検討状況
東駿河湾環状道路 沼津岡宮～愛鷹	新規路線整備	国交省	検討中
笹原山中バイパス	新規路線整備	国交省	事業中
東駿河湾環状道路 三島玉沢～大場・函南	付加追越車線設置	国交省	検討中
国道1号 市立病院南交差点	右折車線延長	国交省	事業中
(都)下土狩文教線	拡幅	三島市	事業中
(都)西間門新谷線	拡幅	清水町	事業中
伊豆中央道 江間交差点	交差点立体化	静岡県 県道路公社	事業中
須走道路・御殿場バイパス(西区間)	新規路線整備	国交省	事業中
(仮称)足柄スマートIC	スマートIC設置	小山町	事業中
(仮称)駒門スマートIC	スマートIC設置	御殿場市	事業中

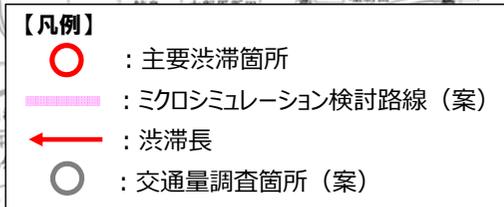
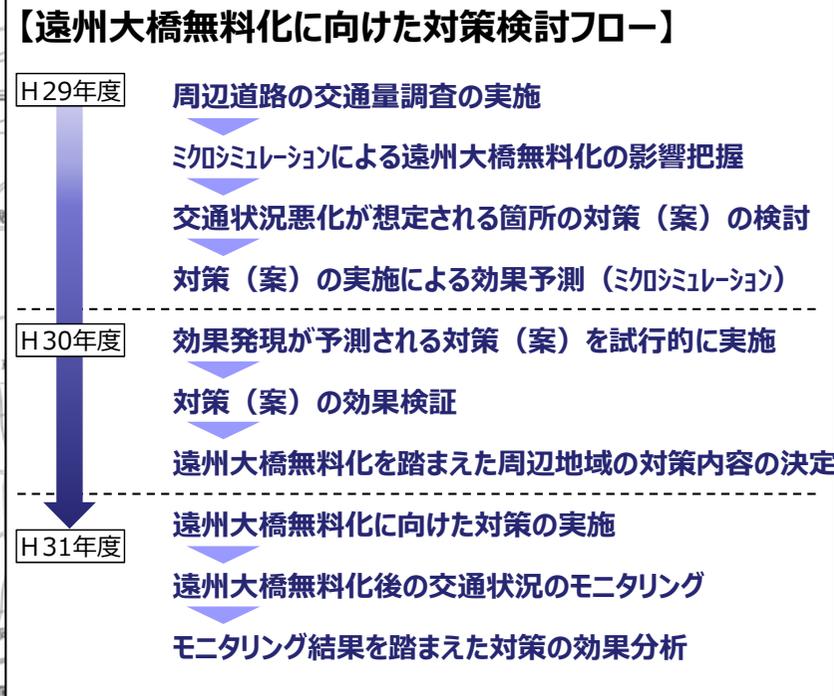
総合対策等

箇所	実施施策	実施主体	検討状況
国道1号 江原公園交差点～西椎町交差点間	愛鷹スマートICへの迂回誘導・案内	国交省	検討中
東駿河湾環状道路	県警トラカン設置・VICS情報の提供	県警	検討中
東駿河湾環状道路	時間・経路分散対策(チャシの配付)	国交省	検討中
修善寺道路	サグ部 速度低下対策	静岡県	検討中
伊豆スカイライン	河津桜まつり開催期間中の料金割引	静岡県 県道路公社	検討中

3. 今年度の取組み(案)

(1) 国道1号及び国道150号掛塚橋渋滞 遠州大橋無料化後の周辺影響検証

- 国道1号浜松BPは交差点が連担しており、かつ従道路側からの流入交通量も多いため、主要渋滞箇所が存在。
- 特に、浜松BPと国道150号が交差する「石原町交差点」では、従道路側においても、渋滞が発生。
- 一方で、遠州大橋が無料化（H31.9）されることで、掛塚橋通過交通が転換することが予想される。
- そのため、遠州大橋無料化後の周辺道路の影響把握を目的に経路選択型マイクロシミュレーションを実施し、交通状況を踏まえた対策を検討。



検討路線と交通量調査箇所については、関係機関との調整の上、決定する。

出典(断面交通量(万台/12h)) : H27センサス交通量

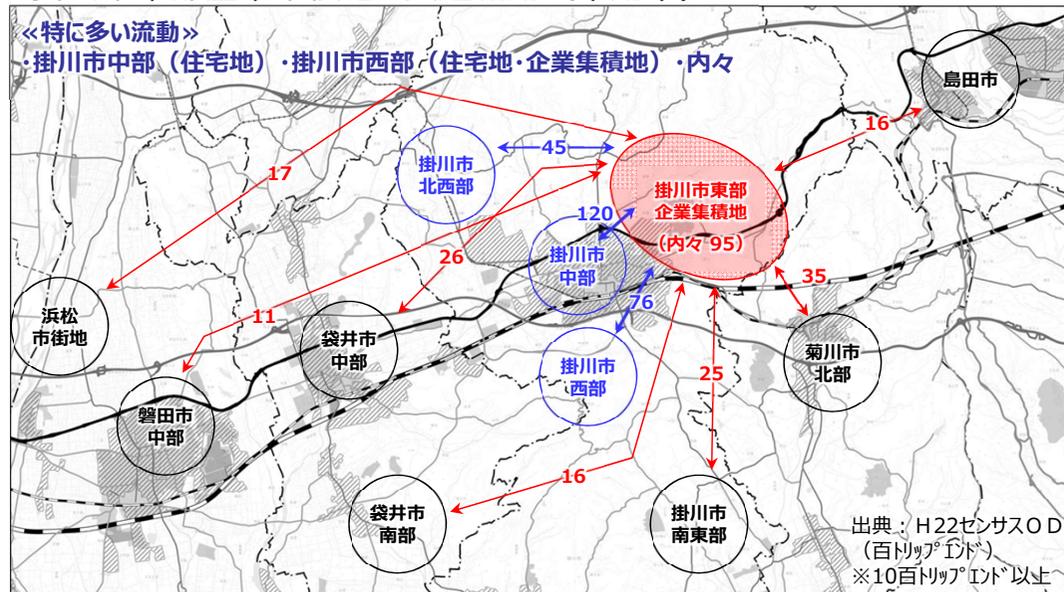
3. 今年度の取組み(案)

(2) 国道1号掛川バイパスの渋滞対策検討

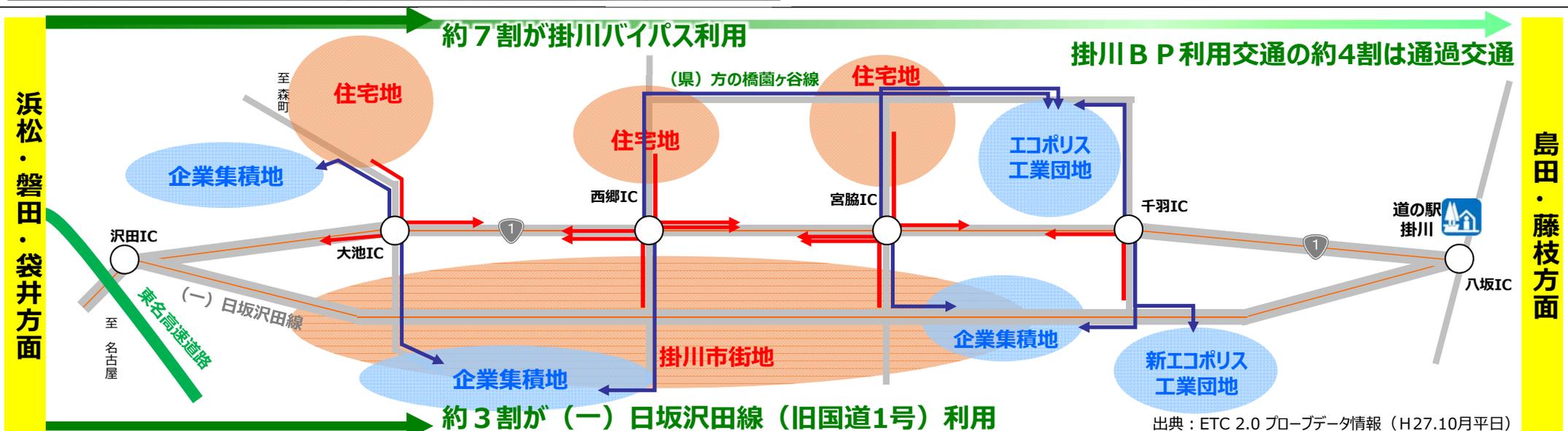
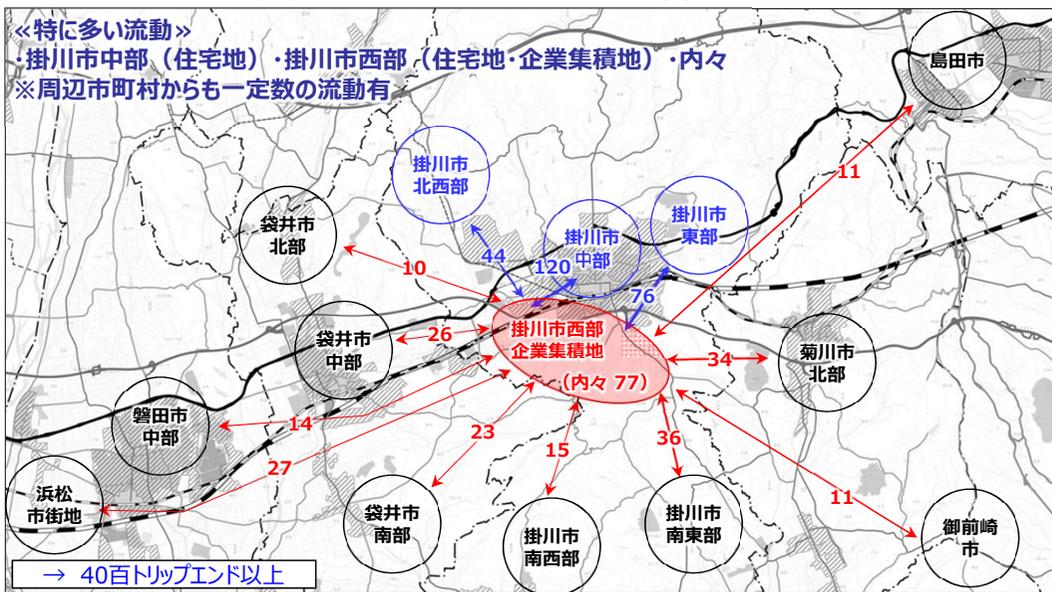
■ 掛川バイパスの使われ方 (交通流動)

- 浜松・磐田・袋井市街地の西側からの通勤交通と、島田市・菊川市の東側の通勤交通が多くなっているが、**掛川市内の住宅地からの内々交通が特に多い。**
- ⇒ 掛川BPの短区間利用が多いことが想定される (「大池IC～千羽IC」間の上下線)
- 既存データの分析結果を拡充する目的に、沿線企業への聞き取り調査 (従業員の通勤経路・通勤時間帯など) の上、時間分散などの対策を実施予定。

《掛川市東部企業集積地の交通流動 (乗用車)》



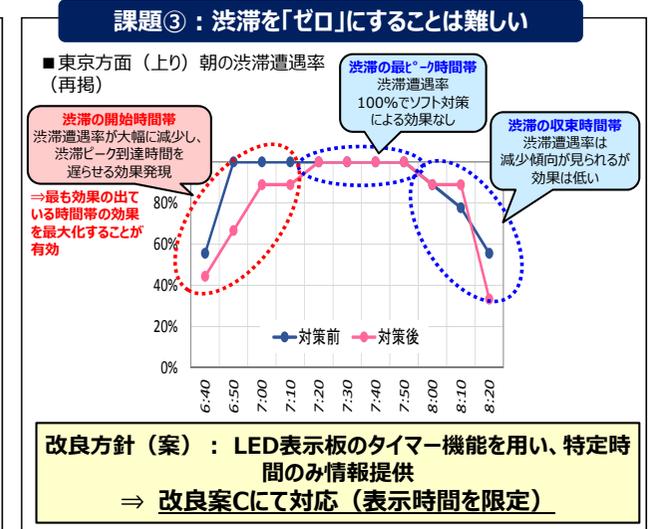
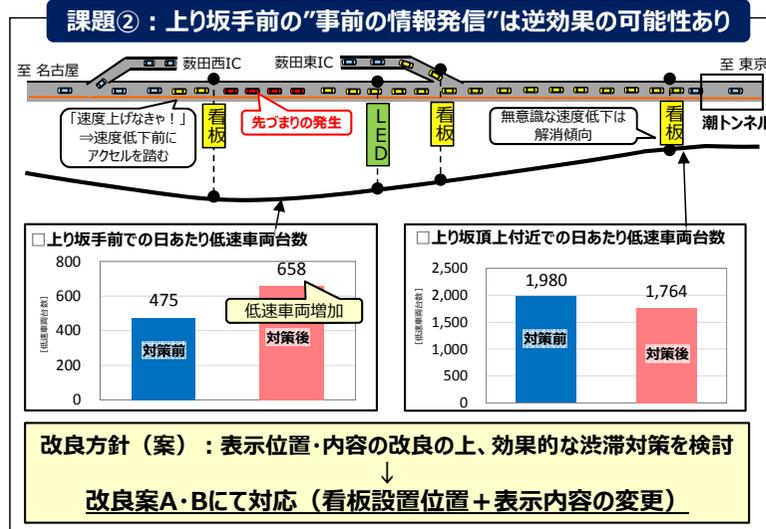
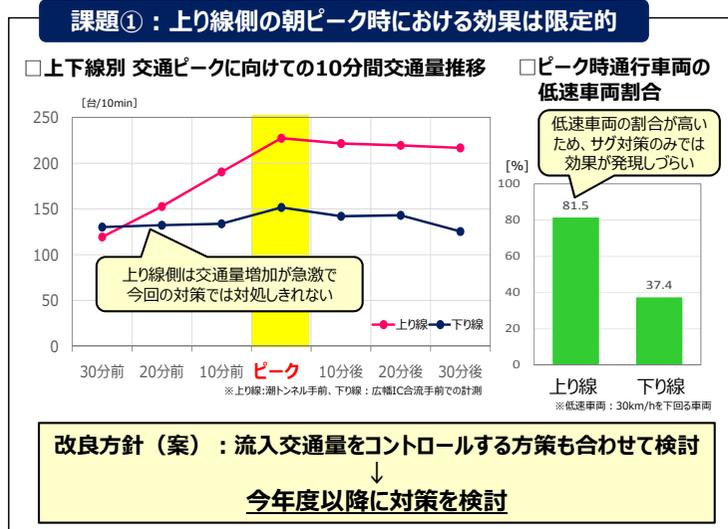
《掛川市西部企業集積地の交通流動 (乗用車)》



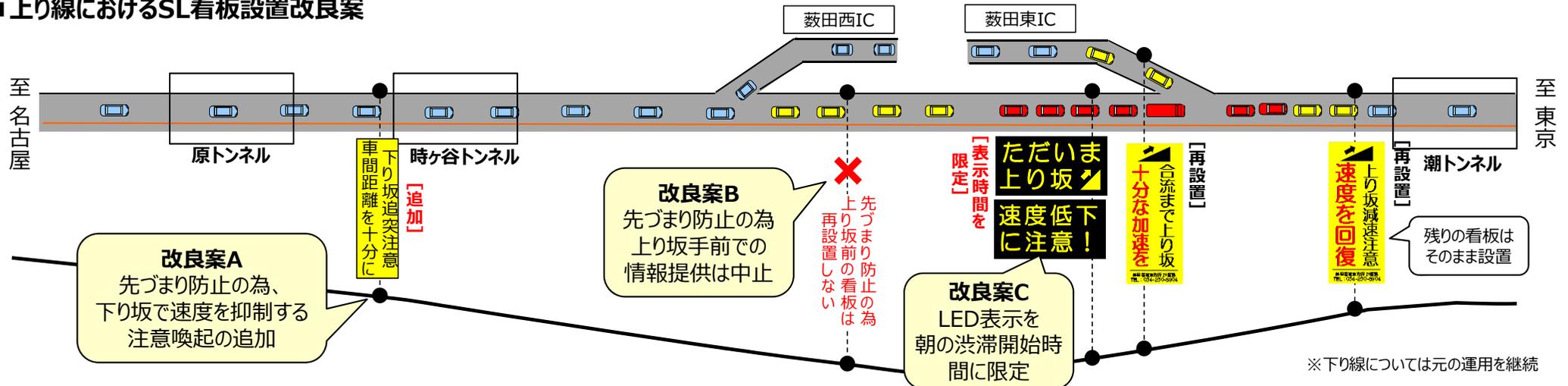
3. 今年度の取組み(案)

(3) 国道1号藤枝バイパスにおける渋滞ソフト対策 (実施主体:国) <一部改良検討中>

- H28年度の短期対策の課題として、①上り線側のピーク時は急激に交通量が増加するため、サグ対策のみでは十分な効果が発現できないこと、②上り坂手前の情報発信は先づまりを発生させ、逆効果の可能性があると、③渋滞を完全にゼロとすることは困難であることが挙げられる。
- 今年度は、課題②・③に対して、S L看板の設置位置・内容の変更、及びLED表示時間の限定等を検討 (改良案A・B・C)。



■上り線におけるSL看板設置改良案



3. 今年度の取組み(案)

(4) 国道1号宮島東交差点の右折2車線化対策 (実施主体:国)

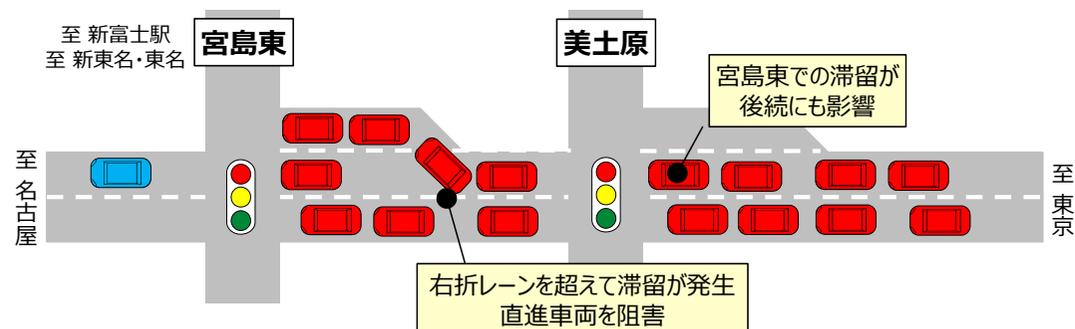
- 宮島東交差点の右折車両が右折車線を越えて直進車両を阻害し、隣接する美土原交差点まで影響。
- 右折2車線化することにより、直進車両への阻害を解消することで、渋滞緩和に期待。

■ 対策概要

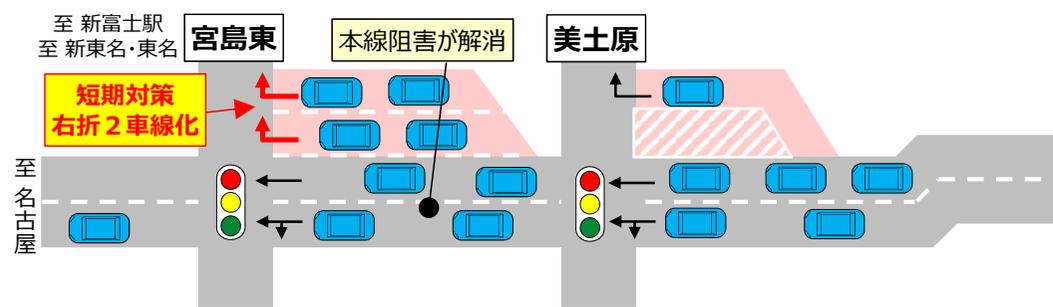
◆ 対策位置図



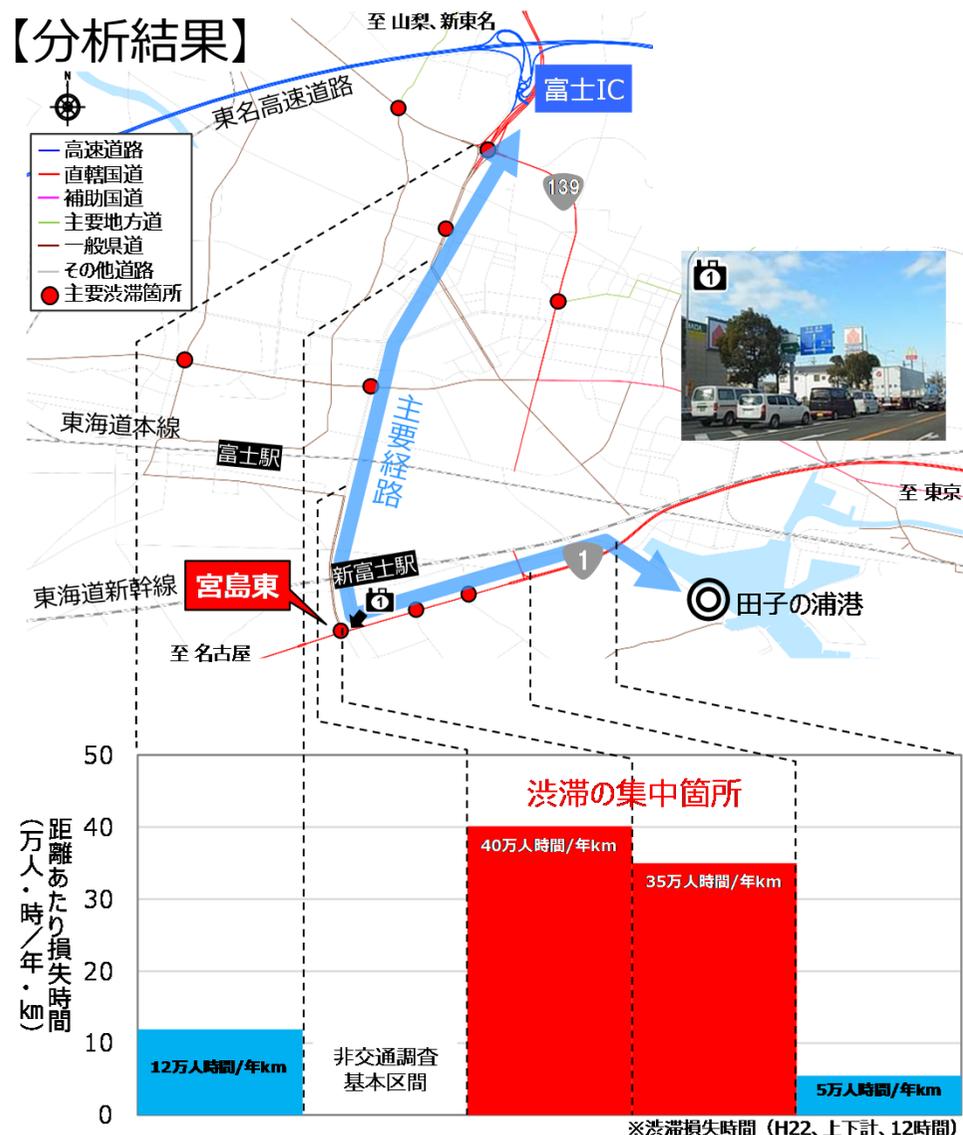
◆ 現在の宮島東交差点 (下り)



◆ 対策後の宮島東交差点 (下り)



【分析結果】



3. 今年度の取組み(案)

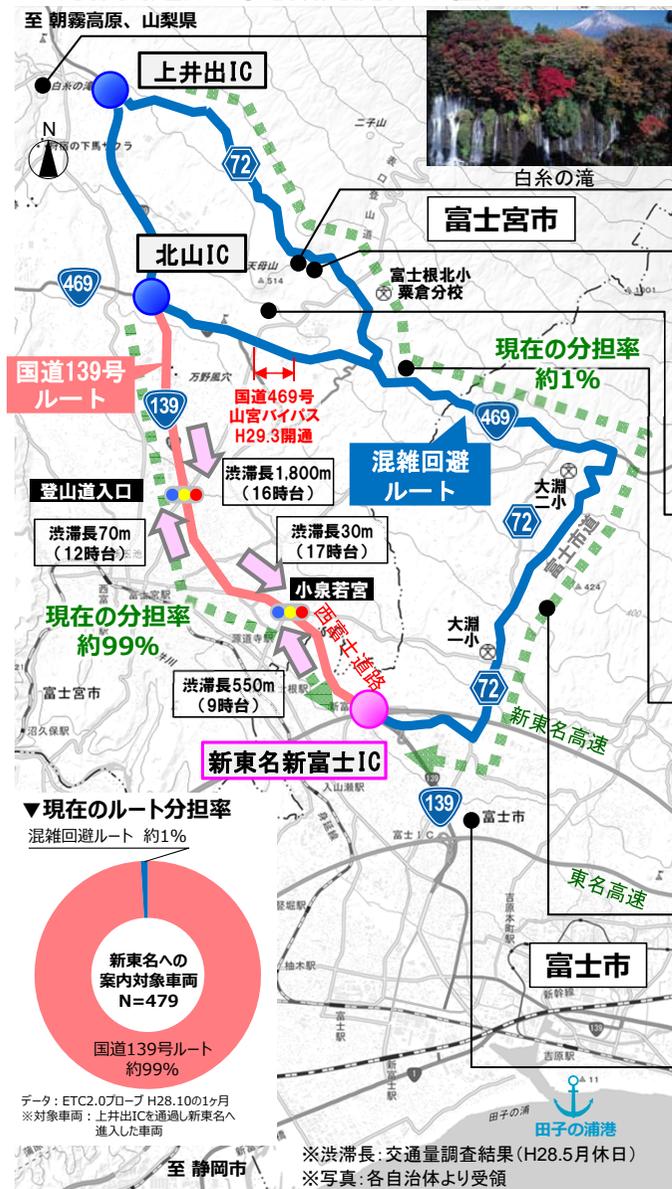
(5) 情報提供による富士市～富士宮市間における交通案内誘導（実施主体:国） <一部改良検討中>

- 富士～富士宮間において、H28年度に実施した交通案内誘導施策を改良し、休日の渋滞対策を実施。
- 迂回ルートへの分担率改善のため、北山ICからの誘導追加、看板デザインの改良等を検討。
- 迂回ルート沿線の観光地を合わせて紹介することで、迂回ルートへの誘導を促す。

■ 取組み概要

対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 西富士道路・国道139号から他路線への案内誘導を促すため、①現地案内誘導、②情報提供（取組の周知）を実施。 ● 「山梨方面から帰宅する車両」を対象に、新東名新富士ICまでの迂回案内を実施。 	
対策期間	平成29年11月の1ヶ月間 <休日を対象> ※具体的な日時は今後調整	
誘導区間	①新東名新富士IC～国道139号上井出IC ②新東名新富士IC～国道139号北山IC	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ● 富士山周辺の観光入込客は、11月の紅葉シーズンが、GW・夏休み期間に次いで多く、西富士道路・国道139号では著しい交通混雑が発生。特に、国道139号上り（富士宮⇒富士方面）夕方の速度低下が顕著。 	
実施方法 (案)	(1) 現地案内誘導 <ul style="list-style-type: none"> ● 現地に「案内看板（SL看板）」を設置。期間中の維持管理は、道路管理者と連携。 ● 看板デザイン・設置位置等の改良を検討中。 	(2) 情報提供（広報） <ul style="list-style-type: none"> ● 関係機関・施設（自治体や観光協会、観光施設やコンビニ等）と連携し、「HPバナーへの掲載」や「チラシ配布・ポスター掲示」、「twitter等のSNS」による情報提供を実施。
実施結果の 分析方法 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ● 混雑回避ルートにモバイルトラカンを設置し、国道139号からの転換状況等を分析。また、ETC2.0プローブ等も活用。 ● 現地観光施設におけるアンケート調査、Webアンケート調査等の実施も検討中。 	

■ 混雑回避ルートと観光施設の位置

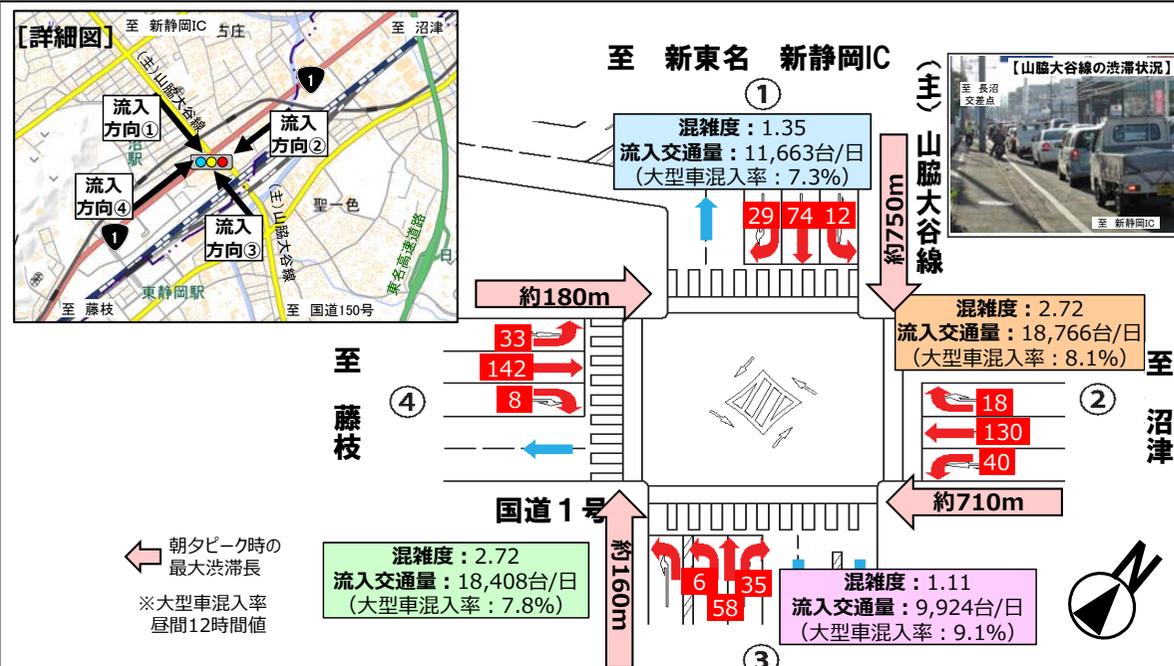


3. 今年度の取組み(案)

(6) 国道1号長沼交差点周辺におけるソフト対策等の検討 (実施主体:国) <検討中>

- (主)山脇大谷線では、1日を通して新静岡 IC方面からの流入が多く、国道1号では朝夕ピーク時に沼津方面からの流入が多い。
- 東名静岡東スマート ICの整備により、新たに(主)山脇大谷線の長沼交差点を介してスマート ICへアクセスする交通が見込まれ、長沼交差点への流入交通が増加し交通環境がさらに悪化することが想定されるなか、当該交差点に交通負荷軽減施策の検討・実施が急務。
- また、国道1号及び(主)山脇大谷線における交通特性を分析し、短期及び中長期対策に向けた検討を行う。

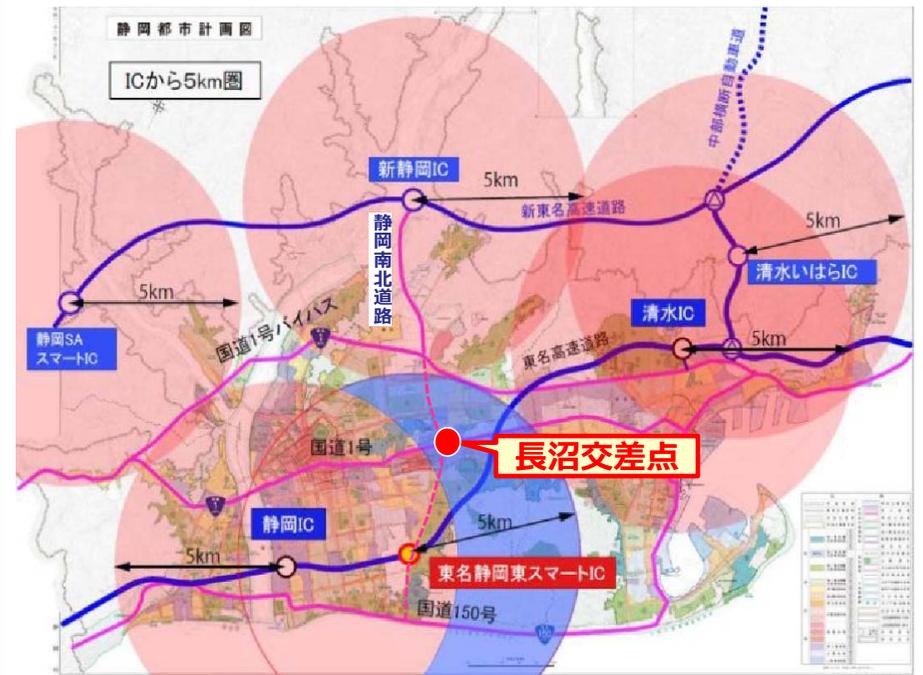
[長沼交差点の交通状況]



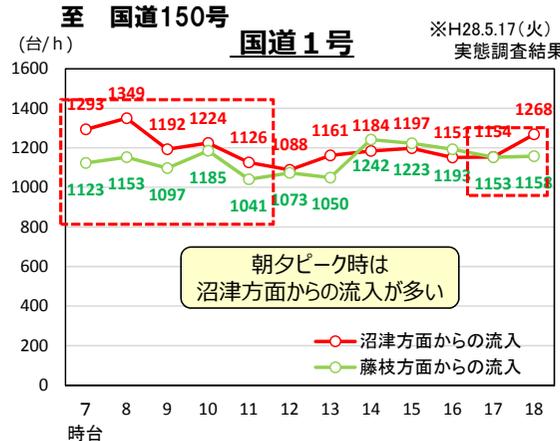
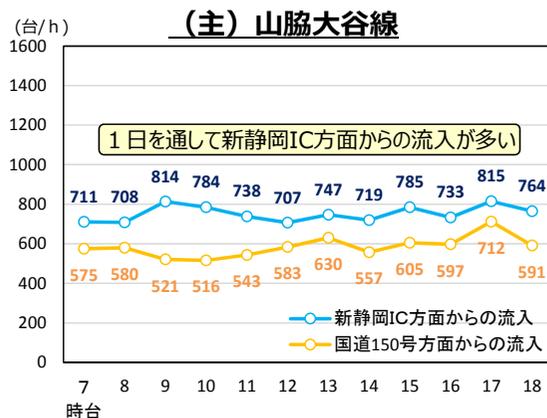
[周辺地域から高速道路 ICへのアクセス]

- 現況では、長沼交差点周辺は高速 ICの半径5km圏外であるが、東名静岡東スマート IC整備により、**新たに長沼交差点付近の市街地も5km圏内となる。**
- ICアクセス路となる山脇大谷線を経由する車両の増加が見込まれるため、**長沼交差点の流入交通増加が想定される。**

・高速 ICからの時間圏域



※出典: 東名静岡東スマートインターチェンジ地区協議会資料 (一部追記)



3. 今年度の取組み(案)

(7) 国道1号迂回案内(愛鷹スマートICの活用)

- 国道1号の対策として、国道1号に横断幕を設置し、愛鷹スマートICの利用を促進
- 東京方面行きの沼津IC利用者の約10%は国道1号西側から流入しているため、愛鷹SICの利用を促進することで市立病院南～江原公園交差点付近の混雑緩和を図る

■ 交通状況(愛鷹スマートIC開通後)

【愛鷹スマートIC開通後(H28年6月：平日) 沼津IC利用圏域】



■ 横断幕設置予定位置



■ 対策案 愛鷹スマートICへ誘導する案内横断幕の設置

H29.10～：対策実施



横断幕(デザイン)



3. 今年度の取組み(案)

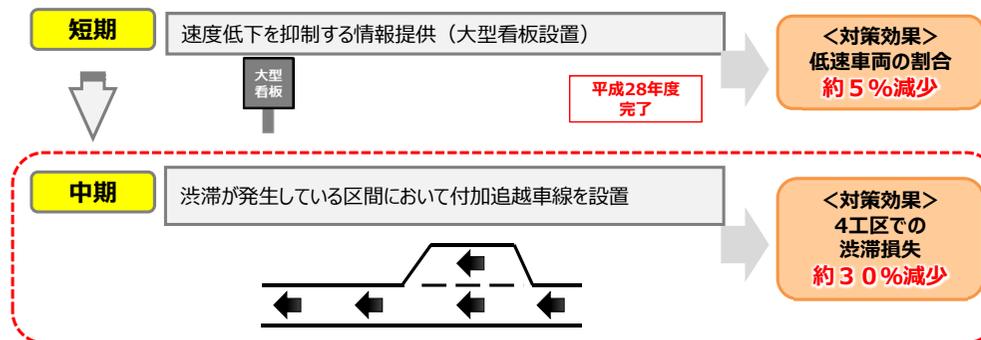
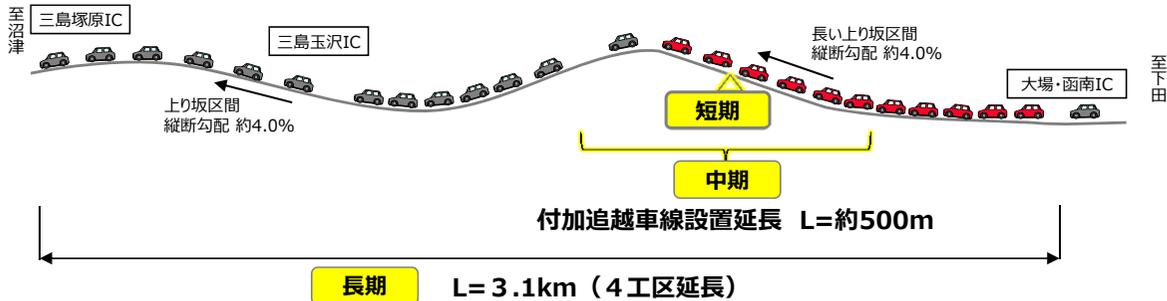
(8) 東駿河湾環状道路サグ部 付加追越車線

- 短期対策として速度低下を抑制する大型看板を設置し、一定の効果が発現したが、渋滞解消には至っていない。
- 中期対策として、大場・函南IC～三島玉沢IC間に付加車線の設置に向けて検討。

■ 今後検討する中期対策 (付加追い越し車線設置)



※渋滞：時速40km以下で低速走行あるいは停止発進を繰り返す車列が、1km以上かつ15分以上継続した状態



※ 4工区：三島塚原IC～大場・函南IC

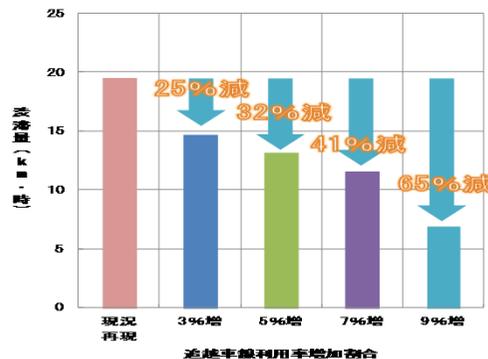
■ 付加追越車線設置効果試算結果

マイクロ交通シミュレーションを用いて、付加追越車線設置による効果を試算

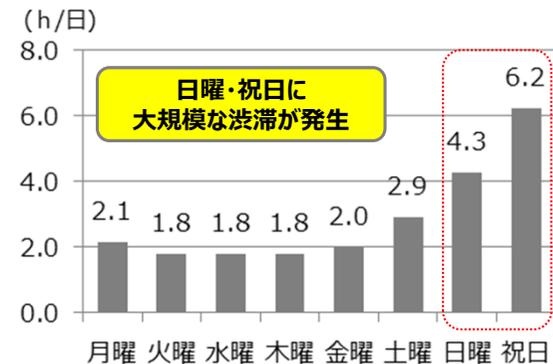


シミュレーション画面の例 (付加追越車線設置後)

付加追越車線設置時の渋滞低減効果を試算した結果、追越車線利用率5%増⇒32%、利用率9%増⇒65%の渋滞軽減効果



＜東駿河湾環状道路（4工区）の曜日別渋滞時間＞



※渋滞：時速40km以下で低速走行あるいは停止発進を繰り返す車列が1km以上かつ15分以上継続した状態

3. 今年度の取組み(案)

(9) 東駿河湾環状道路 時間・経路分散対策

- 東駿河湾環状道路の下り線については、休日の夕方に渋滞が発生しており、観光交通に対して帰りの時間分散、経路分散を促す。
- 対策については、観光地を紹介するなど滞在時間を少し増やすことで時間分散を促すなどを検討。
(各道の駅からの所要時間グラフを記載した案内チラシを作成し、立ち寄る可能性が高い道の駅で配布など)

■ 東駿河湾環状道路の混雑状況

<広域図>



※渋滞：時速40km以下で低速走行あるいは停止発進を繰り返す車列が、1km以上かつ15分以上継続した状態



出典：民間プローブデータ (H28年8月7日 休日)

■ チラシを配付する道の駅

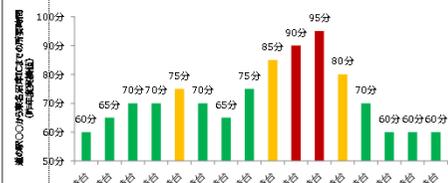


■ 配付するチラシイメージ

道の駅〇〇から、東駿河湾環状道路を経由して
新東名長泉沼津IC・東名沼津IC方面へお帰りの所要時間のご案内

〇月〇日(〇)~〇日(〇)の
道の駅〇〇から東名沼津IC間の出発時間ごとの所要時間のめやす

- 東駿河湾環状道路は時間帯によって渋滞が予想されます。
- 混雑のピーク時に出発されると、通常よりも30分から40分程度到着が遅くなります。
- 出発時間を調整して頂くことでスムーズにお帰りがいただくことができます。



ウェブサイト伊豆地域の混雑情報を提供しています

【閲覧方法】
1) 伊豆地域の混雑情報で検索
2) 閲覧したい時期・時間帯を選択し、混雑情報・所要時間を表示

伊豆地域の混雑情報

3. 今年度の取り組み(案)

(10) 国道1号市立病院南交差点改良 (実施主体:国)

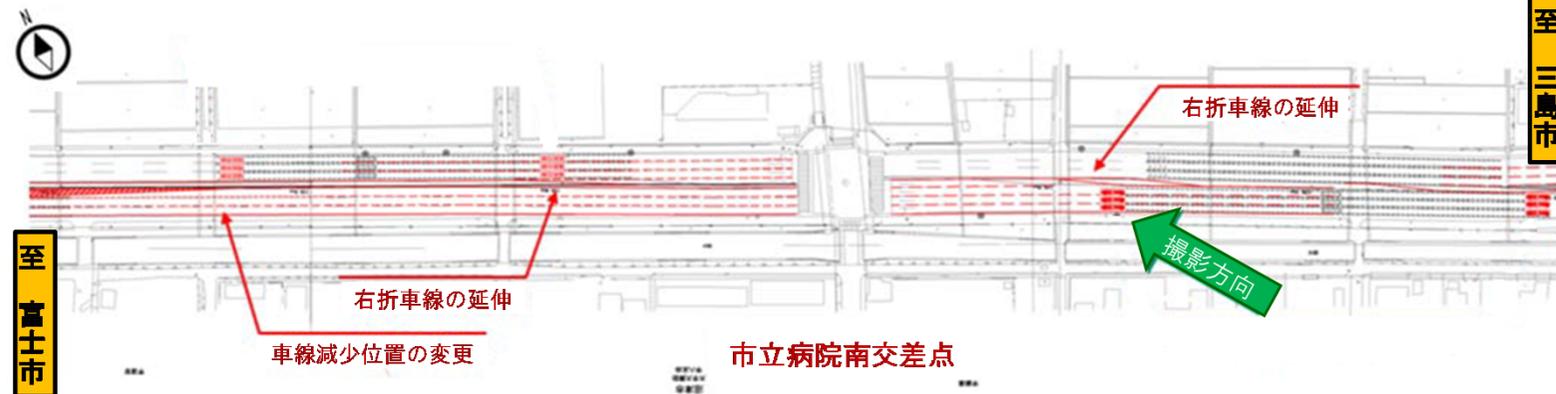
- 国道1号の沼津市街に位置する交差点であり、右折滞留長の不足による右折車両の直進車両阻害が発生
- 右折車線の延伸によって右折滞留長の不足を解消

■ 位置図

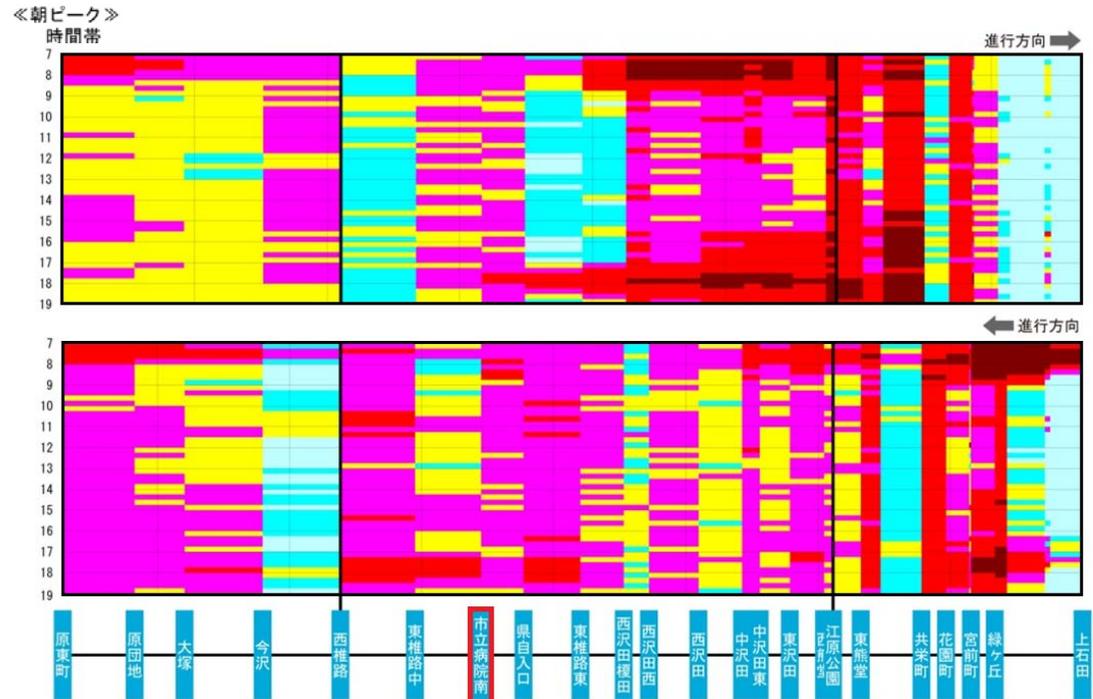


【事業概要】
 実施主体：国土交通省
 工事内容：右折車線の 신설、延伸
 設置箇所：国道1号 市立病院南交差点
 設置時期：平成30年度内 完了見込

■ 対策図



■ 当該区間の混雑状況



■ 現況写真



右折車両により
第一車線が渋滞

3. 今年度の取組み(案)

(11) 伊豆中央道 江間交差点 立体化 (実施主体:静岡県、静岡県道路公社)

- 東名・新東名から伊豆市までの間で唯一残る信号交差点であり、伊豆地域が観光で賑わう休日を中心に慢性的な渋滞が発生
- 平成32年度の完成を目標に事業中



■ 事業概要

平成32年(2020年)東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技が伊豆市で開催されることを踏まえ、平成32年度の完成を目標とし、当該交差点の立体化及びIC設置の付替え事業に着手



■ 計画概要

有料道路名	伊豆中央道	
路線名	一般国道136号	
区間	静岡県伊豆の国市 南江間 ~ 北江間	
延長	1.05km	
本線	道路の区分	3種2級
	設計速度	60km/h
	車線数	2車線
ランプ	ランプ種別	D規格
	設計速度	30km/h
	車線数	1車線

■ 立体交差点完成イメージ (江間いちご狩りセンター付近から)



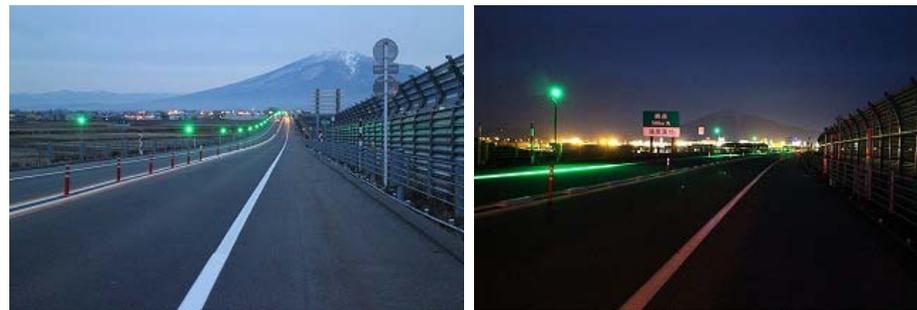
3. 今年度の取組み(案)

(12) 修善寺道路 サグ部 速度低下対策 (実施主体:静岡県)

- 国道136号バイパス (伊豆の国市内) にて慢性的に発生している沼津方面のサグ部における渋滞や速度低下の緩和対策を実施する。
- 平成29年度に試行的に長岡第3トンネル内に、任意の速度で進行方向に流れるように発光する「視線誘導灯」を設置し、速度低下を抑制する。
- 今後、長岡第3トンネルに設置後に効果検証し、渋滞緩和に一定の効果が見られれば、対象箇所を拡大予定。



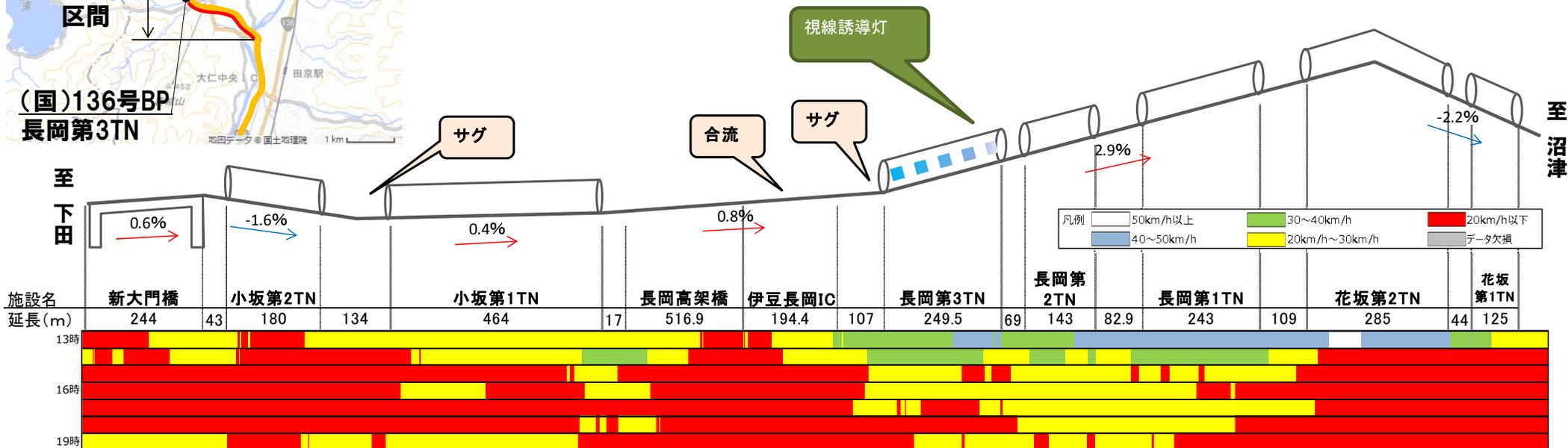
■ 視線誘導灯の例



※引用：弘前河川国道HP

【H29事業概要】

工事内容：視線誘導灯設置工
 設置箇所：長岡第3トンネル
 延長：249.5m
 設置時期：平成29年度完了見込



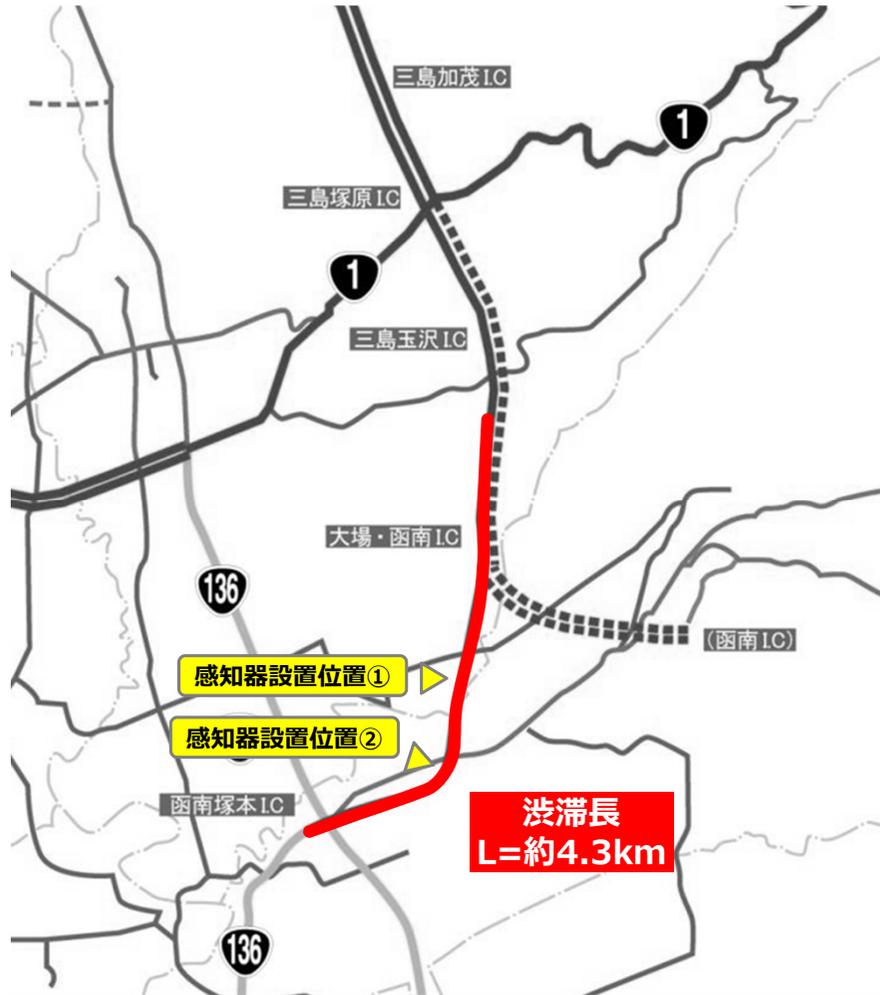
資料：ETC2.0データ(平成28年8月13~15日)

3. 今年度の取組み(案)

(13) 東駿河湾環状道路への県警感知器(VICS)の設置 (実施主体:静岡県警)

- 東駿河湾環状道路の大場・函南IC～函南塚本IC間に渋滞情報収集用の感知器 (VICS) を設置し、渋滞情報を提供
- 対応カーナビ等へ情報提供することで混雑時に経路分散を図り、混雑緩和を図る
- 平成29年度に2基設置し、平成30年度以降はより詳細な渋滞状況を把握出来るよう増設を検討中

■ 渋滞情報収集用の感知器設置位置



渋滞長調査: H27年5月3日(日) 17時50分ごろ

■ VICS情報の提供例

VICS車載器 (カーナビ等) への情報提供

	FM多重放送情報	ビーコン(電波・光)情報
地図表示	<p>VICS-FM波が届くエリアでさえあれば表示</p>	<p>VICS-FM波の難受信エリアでも受信可能</p>
文字表示	<p>VICSみやぎ (01/09) 08:35 国道48号下り 車線規制 作並→本町3丁目</p> <p>メニューで知りたい情報を選択</p>	<p>新宿通り上り 四谷見附付近 渋滞0.5KM</p> <p>自車位置をもとに進行方向の情報がわかる</p>
	<p>東名 下り 事故 東名川崎IC→東京IC 車線規制</p> <p>メニューで知りたい情報を選択</p>	<p>御殿場→裾野 事故渋滞 5km</p> <p>自車位置をもとに進行方向の情報がわかる</p>

引用: VICS情報サイト (<http://www.vics.or.jp/know/structure/example.html>)

県警情報板への情報提供 [イメージ]



インターネットによる情報提供(JARTICホームページ)



4. 交通状況のモニタリング

4. 交通状況のモニタリング

4-1 モニタリング実施結果(H29年度)

- 最新の交通データにより、主要渋滞箇所の選定時の評価指標を用いて、最新の渋滞状況を点検。
- 点検の結果、渋滞箇所の抽出指標に該当しない箇所が9箇所確認された
- 今年度も最新の交通データを用いたモニタリングを実施していくとともに、抽出指標に該当しない箇所については現地状況を確認。

静岡県内の主要渋滞箇所(283箇所)のモニタリング結果 ※平成28年度末

渋滞箇所の分類 (渋滞箇所の抽出指標)	主要渋滞箇所数 (283箇所)	モニタリング実施結果	
		渋滞箇所の抽出指標に該当する箇所	渋滞箇所の抽出指標に該当しない箇所
①平日における渋滞箇所 (昼間12時間の損失時間 80万人時間/年以上など)	150箇所	144箇所※1	6箇所
②観光期における渋滞箇所 (観光エリア内のピーク時最低旅行速度のワースト1割以内など)	16箇所	16箇所	0箇所
③踏切による渋滞箇所 (1日の踏切自動車交通遮断量5万台・時/日以上など)	4箇所	4箇所	0箇所
④パブリックコメントによる追加箇所 (パブリックコメント意見箇所を最新データなどにより確認)	113箇所	110箇所	3箇所

最新の交通データ

※民間プローブデータ、トラカンデータ等による
(ともにH28年9-11月)

※1 内2箇所は、抽出指標が観光期における渋滞箇所へ

4. 交通状況のモニタリング

■ 速度変化のモニタリング(渋滞箇所の抽出指標に該当しない箇所)

渋滞箇所の選定指標に該当しない箇所



速度変化のモニタリング
各箇所の旅行速度を方向別・時間帯別で確認

※民間プローブデータによるデータ比較

(平日) H24選定時：H22.9～11、H28モニタリング：H28.9～11

(休日) H24選定時：H22.8、H28モニタリング：H28.8



○速度向上がみられる箇所

⇒ 渋滞対策の取組により、主要渋滞箇所の渋滞が緩和されている。

○速度向上がみられない箇所

⇒ 渋滞が緩和しているわけではないことから、経過観察とする。

モニタリング結果(静岡県)

	渋滞箇所の抽出指標に該当しない箇所		
	静岡県全体	速度向上がみられる箇所	速度向上がみられない箇所
①平日における渋滞箇所	6箇所	1箇所	5箇所
②観光期における渋滞箇所	0箇所	0箇所	0箇所
③踏切による渋滞箇所	0箇所	0箇所	0箇所
④パブリックコメントによる追加箇所	3箇所	2箇所	1箇所
合計	9箇所	3箇所	6箇所

4. 交通状況のモニタリング

■ 渋滞箇所の抽出指標に該当しない箇所

	渋滞箇所の抽出指標に該当しない箇所		
	静岡県全体	速度向上がみられる箇所	速度向上がみられない箇所
①平日における渋滞箇所	6箇所	1箇所	5箇所
②観光期における渋滞箇所	0箇所	0箇所	0箇所
③踏切による渋滞箇所	0箇所	0箇所	0箇所
④パブリックコメントによる追加箇所	3箇所	2箇所	1箇所
合計	9箇所	3箇所	6箇所

■ 削除箇所

■ 経過観察

- : 主要渋滞箇所
(渋滞箇所の抽出指標に**該当する**箇所)
- : 主要渋滞箇所
(渋滞箇所の抽出指標に**該当しない**箇所)
- ◆ : 主要渋滞箇所(踏切)
- : 主要渋滞区間
- : 主な工場等



5. 道路利用者団体との連携強化

5. 道路利用者団体との連携強化

道路利用者団体との連携強化

- 渋滞協議会とトラックやバスの利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定
- 即効性のある渋滞対策を検討・実施

■ 概要

渋滞対策の推進体制

渋滞対策協議会における議論

- ・最新交通データによる渋滞状況検証
- ・交通状況に対する専門的見地からの検証

地域の主要渋滞箇所の特特定・見直し

トラックやバス等 利用者団体と連携

ソフト・ハードを含めた対策の検討・実施

- ・地域の課題を共有することで道路管理者と道路利用者間での議論を促進
- ・円滑な渋滞対策の立案・実施を実現

■ 対策予定箇所

国道 21 号 綾戸交差点 (岐阜県 垂井町)



<< 右折レーンの延伸を予定 >>

国道 23 号 豊川橋北交差点 (愛知県 豊橋市)



<< 交差点付近の直進レーンの増設を予定 >>

P.26参照

国道 1 号 宮島東交差点 (静岡県 富士市)



<< 右折レーンの 2 車線化を予定 >>

国道 23 号 小津町交差点 (三重県 松阪市)



<< 交差点付近の 3 車線化を予定 >>

出典:平成29年度 中部地方整備局関係予算の概要(平成29年3月31日付け記者発表資料)